京城日報

朝刊と合せて八頁

定價 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 一ヶ年金七圓五拾錢（郵税共）

廣告料 五號活字一行金七拾錢 特別欄內一行金一圓 ……

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 田口政太郎
京城太平通一丁目
發行所 合資會社京城日報社
電話（編輯用）三五番 二一一番
電話（營業用）六番 一六〇番
振替貯金口座京城三〇〇番

▲本年の新米 ……

金剛山遊記　蘇峰生（日誌摘記）

四、朝鮮人と金剛山

亂峯相接するところに妙味存す‖苟も濟勝の具に饒むもの皆遊ぶ‖所在の岩壁に刻す題名の痕

朝鮮人は、金剛山を、總して、楓嶽と呼んで居る。また、四季により名を更へ、春は金剛、夏は蓬萊、秋は楓嶽、冬は皆骨と稱して居る。金富軾の新羅史には、これを霜嶽と稱して居る。それは、山として石ならざるなく、石として白からざるは無きが故に、斯く名けたものと言はれて居る。何れにしても、金剛山は一の山では無くして、多くの山の團體である。金剛山の見る可きは、山そのものよりも、山と山との相接するところ、千巖萬壑相連なるところに於て、自ら言ふ可らざる妙味を發揮して居るのである。

そこで、内地人こそ、此頃になつて、金剛々々といふけれども、朝鮮人の金剛山に於けるは、内地人の**吉野山や高野山**に於けるが如きものであつて、李朝になつてからのみでなく、**高麗朝の時**より、否な新羅時代に於てさへ**文人墨客**、其他、苟も濟勝の具に饒むものは、皆遊んだものであつて、その遊記なども、尠からずある。則ち、高麗の李穀の東遊記を讀めば、彼は至正九年の秋、金剛山に遊んで居る。至正九年と言へば、恰も我が南朝の正平四年であつて、西暦千三百四十九年に當り、今を去ること五百六十六年前である。其遊記を見れば、其時分より、内金剛外金剛の稱は存して居る。併し、彼は松都よりわざ〳〵見物に出かけて居るに拘らず、僅かに海金剛を見て歸つたのである。而して、彼が山に登らぬ申譯は、『行既遠路且險、馬皆瘏背病、躑或有二落後者一、故不三復登二山一』とある。彼の有名なる圃隱先生鄭夢周も登山して居る。或はまた、近來の趙成夏の如きは、毘盧峰に登り、日暮れて歸途を失し、遂に案頭に一夜を明かし翌曉其の周圍に虎跡の印したるを見て、魂を悸したるものもある。凡て、金剛山中、あるとあらゆる石は、苟も人の手足の達するところ、題名の跡ならざる無く、此頃、**李埈公殿下も**、外金剛に遊ばれた由にて、**玉龍洞の絶壁に題名を試みられ**、余が行きたる時には、足場を掛けて漸く李の一字だけを揚移つて居た。かゝる次第であつて、金剛は朝鮮人には昔から知れ渡つた山である。但、内地人の知るもの少なく、世界の人の知るもの更に少なきは、吾等にとつて、尠からざる遺憾であつて、若し此行によつて、幾分にても之を**天下に紹介**することが出來たならば、これは、予にとつて思ひ設けぬ功徳であらうと信ずる。

金剛山スケッチ（四）　前川千帆

◎佛機爆彈投下

巴里來電に曰く、十七日佛國飛行機隊は獨逸トレーヴエス（モーゼル河の右岸）に爆彈三十個を投下せり、尙ほルース戰線及びスーシエの東方には引續き砲戰行はれ居れり（倫敦電報）

◎袁氏迎合

促進派と協進會

帝政促進派は國體投票の細切を十一月五日同發表を十五日と定むる議案を十九日の立法院に緊急動議として提出す可し而して國體の投票に關し君主民主の二題目を置く可しとの議に對し全國請願團の主旨は君主に一致し居るを以て單に賛成反對をのみ投票せしむ可しとの議論新たに起り籌安會は憲政協進會と改稱し二十名の研究委員を選擧せるが他方にては新國家の根本を定め國體改革と同時に施行す可しと主張し何れも競ふて未來の袁皇帝に迎合するに暇なく反對者たる徐世昌周學熙等は引籠りて國務に干からず前清皇室關係者は意氣消沈し清皇室の前途を悲觀し宣統皇帝の末路は異に憂慮に勝えず恭親王、肅親王等は先見の明ありなど稱し居れり（北京特電）

◎法王代表參列

今秋の御即位式

羅馬來電に曰く、羅馬法王廳より非律賓に派遣せられ居たるペトリー、アポストリク僧正は羅馬法王を代表して日本國　皇帝陛下の御即位式に參列の爲既に渡日の途に就けるが同僧正は出發に先だち法王に謁見せり（倫敦電報）

◎露鐵道撫順炭使用

十九日靑島經由旅順より歸客の談に曰く西伯利亞鐵道にては燃料の缺乏せる爲め今回石炭を使用することゝなり過日撫順炭多數の買入契約を爲したりと（門司特電）

雜報

●赤松亡國論

本多農學博士談

『林相の變化と國運の消長』の續

余が阿弗利加を旅行してカルタゴの遺蹟を視察した際不圖見ると其處に穴がある何の穴かと四邊に警戒しつゝ探檢して進んで見ると中は煉瓦で四圍を疊んだ廣大な室になつてゐる夫れが一室丈けでなく廊下が續いて二つも三つも續いてる辿り辿つて數へて見ると皆で五つ餘りある研究の結果其れは

二千年前カルタゴ市

盛時の貯水池だと知れた此の沙漠の何處から水を引いて來るだらうと亞剌比亞馬に跨つて探檢して見ると二十二里半を距てた所に一座の山があつたガンギー山と云ふ其谷間迄水道の跡が斷續し此處に水源池の跡があつた今は一面の砂原砂山であるが乾立した巖山の頂近くに恰も章魚の吸ひ付いた樣な木の根株が喰つ付いてる尙奥には生木もある大古確に大森林があつたものと思はれる夫れから一千里を距てた處に佛蘭西が理想的森林政策を行つた處があると云ふので見に行くモロッコ近くにあるアルゼリーの市街に供給した水源地となつてゐる

グラシーヤ山が其れ

であるアルゼリーは現に人口卅萬、馬背に跨つて行けば沙漠續きの裾野も砂ッ原であるが中腹より少し下の處から大森林になつてゐる然して其森林地帶には哨兵がゐて番してゐる驚いたはヒマラヤ杉が三四尺に伸びてゐる此アフリカの沙漠の中にヒマラヤ杉を植ゑるには一本一法半即ち邦貨で六十錢許りに當る登り登つて四千五百尺の處に小林區署がある六千尺の頂上から見れば南方には目路遙かに沙漠が續いてゐるが北方には鬱々としてヒマラヤ杉の大森林が繁茂してゐる而して溪谷は川となりアルゼリーの市街へ用水を供給してゐる流水の附近には小麥、桃、葡萄、無花果、石榴等が實つてる――轉じて

我國の林相如何にと

眺むれば各所に現はれてゐる赤松林の繁茂は餘り悅ぶべき事ではない四國九州中國は今日既に皆赤松林である而して更に尙北上して早や奥羽街道より森岡附近に迄及んでゐる而して第一期林たる楢などは中央山脈の頂上に追ひ遣られてしまつてる是れは火と斧との爲めである此趨勢は滔々として強く益々跋扈しようとしてゐる是れ誠に憂ふべき事で嘗て予が赤松亡國論を草した所以である赤松林は前にも言つた樣に地力を弱める赤松の繁茂してる事は

土地の荒れた證據で

ある之を恢復するにはアカシヤの如き闊葉樹を植ゑ下草を刈取らず土地の乾燥を防ぎ徐々に地力を恢復して行かなくちやならない朝鮮も同樣である中央部以北は今尙第二期林相を示してゐるが以南は全く荒廢してゐる朝鮮で第一に改めなければならないのは火田の風習である土地痩せ乾燥した處であれば直に赤松が侵入して來る南部朝鮮は幸に雨量多く濕氣があるから恢復も容易である今日山野を眺めて嘗て十三年前踏破した頃に比すれば著しく靑くなつてる予は茲にバイル博士の警句を引照して此講話の終りとしたい（第二回朝鮮農會大會講話）森林なくんば文明なく、文明なくんば森林なし

●事務總長張宴

支那來賓招待

山縣共進會事務總長は十九日午後七時より支那派遣員一行を朝鮮ホテルに招待晩餐會を開く、總督府側よりは兒玉、關屋兩局長、小松翰長、森武官、遠藤秘書官、大藤副官、警務總監部よりは立花總長等參列す、因に一行は既記の如く廿日午前七時十分南大門驛發汽車にて歸國す可し

●支賓歡迎宴

朝鮮銀行、三井物産並に東亞煙草の一銀行二會社主催に係る支那派遣員一行の招待會は十八日午後七時より花月に於て開催されたり、當夜の來會者は主賓一行富支那領事等は勿論宇佐美長官、立花警務總長、小松翰長、兒玉、關屋兩局長、秋山參事官、古海軍參謀長、森、總督附武官、吉田安東縣領事、原田郵船社長、村田東拓理事等主客併せて七十餘名に註せらる、斯くて定刻に至るや水越鮮銀理事主人側を代表して簡單なる一場の挨拶を述べ、天勝一行の奇術を一觀覽したる後宴を開けるが席上メニューと共に配れる一行の歡迎辭に對し金農商部次長の流暢なる日本語の答辭あり、其れより日章旗と支那國旗とを翳せる日本藝妓の手踊、妓生の舞踊等を觀覽しつゝ主客互に歡を盡し十時過ぎ散會したり

●調査局員異動

十八日附を以て總督府臨時土地調査局員左の通り異動を發表されたり

朝鮮總督府臨時土地調査局監査官 正七位勳六等　海保毓飛虎
同　谷　武松
任朝鮮總督府臨時土地調査局技師　朝鮮總督府臨時土地調査局監査官 正七位勳六等　佐久間新治
叙高等官七等
任朝鮮總督府臨時土地調査局監査官　朝鮮總督府臨時土地調査局技手 勳七等　吉井鐵治
同 勳七等　藤野篤藏
同 勳八等　塚田忠雄
叙高等官八等

●畜産協議會

第二回朝鮮各道畜産協議會は十九日午前八時半より京城高等普通學校階上に開會せしが出席者は獸醫畜産技手約百名なり

●農業技術員會議

京畿道農業技術員會議第二日は十九日午前九時より共進會を視察せしが來會者は管內恩賜授産事業技手郡駐在農業教師等三十二名なり

●川村師團長出發

第九師團長川村中將は二十日より黃海道黃州附近に於て實施さるべき幹部演習統裁の爲め岡本參謀長吉富大尉參謀熊野副官等を隨へ十八日午前九時二十分龍山發列車にて沙里院へ向け出發せるが幹部演習專習員の各團隊長等も同列車にて隨行せり尙ほ軍參謀長古海少將は來る二十五日朝鮮將校參名は二十日何れも見學の爲め出發す可しと

□共進會入場者

十八日（月曜日、晴）

▲晝間　一萬九百五十五人
内地人　二、八三七　其他の外國人　三四
朝鮮人　五、八六五　無料者　二、二三四
支那人　七五

▲夜間　四千八百七十七人
内地人　一、四九一　其他の外國人　一二
朝鮮人　二、三八三　無料者　一、〇八〇
支那人　一一

▲合計　一萬五千八百三十二人

▲開場以來累計　六十六萬二千八百二十一人

●張師長金次長出發

入京視察中なりし張二十七師長、金農商部次長其他の一行は豫定の如く二十日午前七時十分南大門驛發臨時列車にて歸國の途に上る

●栃木縣視察團入京

栃木縣視察團教育家十八名、實業家三十名、合計四十八名の一行は十九日午後九時南大門著汽車にて入京す

●岐阜縣觀覽團

岐阜商業會議所主催の共進會觀覽團は二十日朝入京二十一日正午慶會樓上に於て協贊會の招待會に臨むべしと

●德富監督退京

本社監督德富猪一郎氏は二十日朝八時三十分發汽車にて歸東すべし

人事消息

▲芳賀榮次郎氏（總督府醫院長）癩病院敷地調査の爲め十八日全南、慶南管內に出張を命ぜらる

▲佐藤剛藏氏（總督府囑託）同上

▲大竹太郎氏（九州工科大學教授）十八日釜山著北行

▲宇佐美桂一郎氏（同）同上

▲七字魁氏（栃木縣理事官）十八日釜山著入京

▲新開諦觀氏（同）同上

▲中井猛之進氏（理學博士）廿日午前八時南大門發列車にて歸東

▲深柳武雄氏（前揭政太郎氏は同氏の誤）朝鮮ホテル滯在

南言北語

聯合軍はサロニカに上陸した事は傳へられたが何うして居るか一向分らん▲獨逸のターゲブラット紙は聯合軍はサロニカに上陸しても塞國の決勝戰には到底間に合はぬニッシは一週間內には陷落するだらうと云つて居る▲之れは實際だらう一時間十五哩の全速の汽車で十哩四週位を驀進するには何としても三四週間かゝる▲おまけに勇躍戰地に飛び込むと云ふ兵隊さんでもないからな▲伊太利は墺國とは戰爭するが獨逸には宣戰して居ない▲だから巴爾幹戰に參加するとすれば勢ひ獨軍と衝突せなければならぬ▲何とかして獨軍とは衝突せずに墺軍と許り戰爭しようと考慮して居る▲之れも何となく申譯け的に協商側に加擔して居る樣になつて來た▲伊墺國境戰の墓々しくないのも最もだが此向きで見ると巴爾幹戰は慾目に見ても協商側に勝目が少ない▲獨逸潜航艇の暴行が治まつて來たと思ふと英潜航艇が活躍を始めた▲而うすると今度は獨逸が手を換へて盛に空中攻擊を始めて▲ツエッペリンが頭を連ねて倫敦の空から爆彈投下をやつて居る▲獨逸では戰爭が文明を破壞すると云ふ勿れ毒瓦斯戰事應用を世界に示して▲今度は燃えたぎる石油攻めの法をも示した▲次ぎには戰爭が永く續くと人間速成法位の發明は何でもあるまい▲戰爭が種々の發明の動機となれば成るべく永くやつて貰ひたいものだなあと云つたつて敢て非文明でもあるまい▲景氣のよいのは露軍で獨軍を大分叩き付けて居るが▲巴爾幹方面への出兵は鳥渡難題だらう▲羅馬尼が大手を擴げて拙者の中立地をお通し申す事は出來ないと頑張つて居るからね▲と云つて無理に押し通せばヒン曲つて敵に味方するから鳥渡手が付けられぬ▲英國ではダ峽攻擊を中止して白佛方面に其の軍隊を回せと主張して居る者もある▲英軍のダ峽攻擊が上首尾でない上に土軍を破る目算が立ち兼ねるからだと云ふ▲併し今となつて此方の手を扳かうものなら其れこそ大變獨墺軍は大喜びで南下する▲と同時に埃及始め印度方面の英領や佛領が危なくなるから其樣な愚はすまい

家庭博覽會場中見竹西女史讀蘭竹口占　大癡老人

楚々素巾眉目新　野粧時復見天眞　寓來纖手花君子　須上才媛第一人

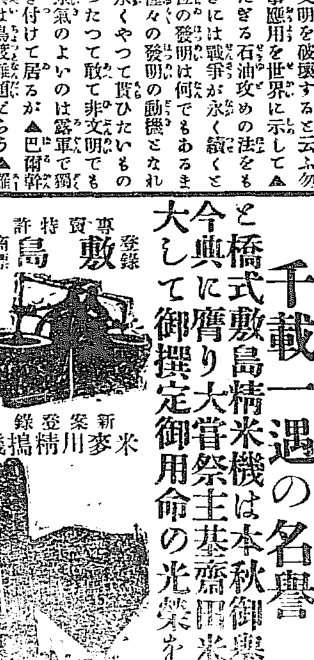
仁川現物市場
仁川米豆取引所

貯蓄預金 壹錢以上何程ニテモ御預リ申候 元金百圓ニ付日歩……
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社 十八銀行 京城支店
京城黃金町電話……振替貯金口座京城……
同 龍山支店
龍山旭橋町……
諸預金貸付爲替等銀行一般ノ業務ハ總テ有利ニ取扱可申候

再版 商業英語辭典 岡田市治先生著
明治大學商科講師 慶應義塾大學講師
特價提供 五千部限 金貳圓也
卷末附錄 ……
內容摘要 商業・經濟及法律の專門語・商用略語・英米常用外國語・貿易名・商用省略語・說明附語數約・支那の政治・經濟・軍事上著名の……英語地名數約……
發行所 東京神田 明治大學出版部
發賣元 東京、大阪、京都、福岡 丸善株式會社

名産 平壤栗大販賣
右御小賣共破天荒の勉強可仕候間陸續御下命の程希上候尙御來談御照會被下候はゞ如何樣にも御滿足を與へ精々御便宜御取扱可申上候敬白

萬穀物類 果物類 問屋 朴承……
平壤 ……里四十三番地
電話 ……一三番

千載一遇の名譽
今次橋式敷島精米機は本秋御大典に膺り大嘗祭主基齋田米精撰の御用命の光榮を辱ふし
登錄 專賣特許 商標 敷島
新案登錄 米麥川精搗機

◯朝鮮京城於共進會機械運轉……
共進會開會中旬日なの試驗機械を運轉し……
◎自動敷精米機五連座連……
◎同大形（ル形に同じ）一臺……
◎同敷島籾摺機一臺……
◎製莚機一臺……
會期中會場假出張所に於て……
御質問及御用命共被仰付度奉希……
敷島精米機其外製造元 大阪市西區江戶堀北通三丁目 今橋芳松
京城府旭町一丁目 同 京城假出張所

第一着は誰 (協贊會の京城市街山野横斷競走選手の服裝と各關所のスタンプ)

壯快なる山野横斷競走

いよく明二十日午前十時=走るが 賽賣の選手=關所々々で七色の襷=花自動車で應援=賞品の山と副賞品

京城協贊會の主催にかゝる山野横斷競走は二十日午前十時一發の號砲を合圖に京城協贊會前のスタートを切ることに決定(雨天ならば二十一日)した此壯擧を耳にして應募したる百五十餘名の申込者は體格檢査の結果左の五十名が選に入つた其多くは走ることが商賣の車夫新聞配達等が多數を占めて居る

旅館朝鮮西山長次郎、無盡飛脚正武、朝日新聞社小野榮次郎、車夫辻太吉、同精窩榮吉、同宮原彦七、同朝府熙、韓學七、中山三郎、藤松一次、同齊朴塊、同沈張旻、同吳寶來、同金鳳培、同張得洙、土橋辰次郎、末佐貫甚藏、總督府夜警野田元次郎、煙草工李相林、消防夫佐々木琢一、同殷治俊、尹泰昕、染谷朝藏、小僕手傳楠澤政次郎、車夫中釜次郎助、職工金銘洙、酒商遠藤三郎、給仕下川島次、職工李才昌、車夫中島敏雄、新聞配達寺永武夫、同關元武夫、同高瀬一政、同柳川作明、同北澤良平、同川澤三之助、同市村正之助、同北川錠次、車夫野田牧次郎、同鄭宮末吉、新聞配達高原俊、消防夫李敬一、車夫宮道ヶ吉、給仕大原政夫、新聞配達吉永太郎、學生李哲男、程實藝徳基、工業閑明藏、守衛鄭谷久藏、十方上田治太郎、福富巖大

▲七個の關所 選手は當日午前八時三十分迄に京城協贊會に參集し十時より競走を開始するのであるが其順路は何れの道筋を撰ぶとも選手の自由なれども左の箇所を必ず經過して同所に出張せる協贊會事務員より別項寫眞の如きスタンプの押捺を受くるものである

パゴダ公園(音樂堂)南山公園(音樂堂)漢陽公園(採鑛所監督所)龍山練兵場(飛行機格納庫建物)龍山總督官邸(正門)龍山印刷所前(正門)南大門(中央)

尚ほ前記の關所に於ては一箇宛合計七色の襷を受取りこれを懸けて決勝點に入る筈で協贊會は決勝點に選手の近づく頃花自動車を以て應援すると云ふことである

▲山の如な賞品 賞品は左の如く一等より十等迄であつて

▲一等二十圓▲二等十圓▲三等七圓▲四等五圓▲五等四圓▲六等三圓▲七等二圓▲八等一圓五十錢▲九十等一圓

右の外副賞品としては多數の寄贈品がある

新穀京都御所に納まる

悠紀地方齋田の新穀は十六日午後零時十六分京都驛に著せり、同列車は安城驛より特に改造せられたる清淨なる一二等四輪ボギー車にて松井愛知縣知事、大田主早川定之助等其他奉耕者男女百數十名搭乘し來り一行は驛前に少憩の後新穀は唐櫃五個に收めしを白丁雜仕等奉舁し其前後に列を正して順路を京都御所なる宮内省出張所に入り直ちに

△新穀供納式 を行ひたり、式場は中央に簀薦を敷き其の傍に祓具を設けられ市來宮内書記官掌典及び松井知事、大田主早川定之助等著床なし夫れより新穀を納めたる唐櫃を簀薦の上に安置せば、松井知事は大田主をして唐櫃の蓋を開かしめ市來宮内書記官掌典等進み寄つて、之を檢め掌典は賢木を執つて清め祓ひたる後、唐櫃は掌典等に依つて齋庫に恙なく納められ尚ほ之れにて式を終り各々退下せり尚ほ

△主基地方の 齋米は若林香川縣知事、岡本同理事官、園田農事試驗場長、樋口綾歌郡長、岡田、山田村長、齋田主岩瀬辰次郎其他關係者共三十八名附添ひ十六日午後四時三十分高松發、十七日午前六時四十八分京都驛著直ちに供納せりと

總見物の花

藝妓妓生百五十名 共進會に招待さる (變裝競爭だ演藝館出演だと)

京城の藝妓々生は共進會開會前後から隨分協贊會のために働いてゐるので京城協贊會では來る二十五日午前九時から京城券、中券、廣橋、茶洞の藝妓妓生四百五十名を慰勞のためとあつて共進會に招待して總見物をさせるそして當日は美しく

裝飾した自動車五臺で

一々迎へ 來り見物が終ると慶會樓で午餐を出し長閑の秋の半日を面白く樂しく過させるさうだ、當日は藝妓側でも今日を晴れと著飾つて繰り込むるべく天然自然の四季の花が一時に咲き出でた樣な盛觀を呈するであらう

寶探と變裝

水族館デーの景品

二十三四兩日の水族館デーにて日中は寶探しあり夜間は妓生八名藝妓八名の變裝競爭あることとなりたるが寶探は一等五圓の懷中時計一個二等は一個三圓の置時計二個三等は一圓のシャツ五着四等は五十錢下駄十足其他十錢迄位の品數多あり尚兩日の夜間變裝は妓生八人藝妓八人にて發見者には一人に付き四圓宛の賞品與へらるゝ由變裝美人は一晩に妓生四人藝妓四人即ち八人宛出場する事となり妓生人名は決定せるが藝妓の人選は目下選定中に付き開催前發表する事となる可く右催に對する寄贈者は石井十五圓美濃谷五圓澁川十五圓東洋軒十五圓淺十圓糸岐女帶一個(四圓)小形丸振り時計一個(二圓二十錢)にて尚不足の處は協贊會にて之を負擔する事となれり

ほうら當つてよく (藝妓連中の家庭博福引抜き)

婆に見惚れて電柱で頭を打つ

石川縣生れ北海道釧路に籍を有する伊勢重兵衛(三一)は竊盜其他にて前科十犯の者なるが竊盜罪に依り永登浦監獄にて三年の刑期を終へて十八日出獄したるのみなる所十八日京城に來り久方振りに娑婆の風に吹かれ午後十一時頃電車に乘り南大門通り三丁目を電車が速進し居れる際車掌の制止するをも肯かず窓より首を差出して市中を眺めたる所電柱に頭部を打著け脈といふ程打撲したる爲め腦震盪を起して車内に卒倒し人事不省に陷りたる急報に依り本町署より警官出張し車掌と共に相助けて最寄なる長谷川町安東病院に擔ぎ込みて應急手當を施し目下加療中なるも生命危篤にて運命の盡きたるものならん

ライハルハキツトマイリマス

クルシマセンセイノオテガミ

□絡連船の甲板より□

船は今釜山の埠頭を離れた、左樣なら〳〵と連呼する君が少年の友の聲も、先生またいらつしやイと手巾をふりにふる少女方の姿は次第に細く次第に小さく龍頭山と共に消え行く、聲は消えたが、姿は見えずなつたが君がまぼろしの中に次第に大きく次第に强く姿を顯はし來るは家庭博覽會後庭に群集した在鮮幾千の少年少女諸君がなづかしの面影である、木浦に、群山に、全州に、大田に、太郞にはた釜山に、各地に共に、歡語した稚き諸君の面影である、今回の行に、始終同行紹介の勞をとられた川島貴社理事は、必ず來年も來れと日々に責めてやます、途には木浦、大田等にては會長の前に必ず來る事を誓はしめる迄であつた、斯して需められ、斯して迎へられて來らずに居られるものでは無い、必ず來ます、必ず來春には諸君に見えます、見えて再び快活なる諸君の前に、諸君の滿足するまで語りたいと思ふ、諸君に語ると共に、諸君の母君、諸君の姉君にも語りたいと思ふ、御會もよし、家庭談話會もよし、必ず諸君と共に在る洞の櫻咲く頃、必ず諸君と共に相見し、さらば親しき少年諸君、なつかしき少女諸君、また遭はん日まで健在なれ。さらば〳〵!!

クルシマタケヒコ

火の用心せよ

一日に火事三件

是より漸次火災の時季に這入る折柄十八日には京城にて一日三箇所の出火ありたり午前七時頃黄金町三丁目十一番地ペンキ職李致鎬方にてペンキ油を扱ひ居る際之に火の移りて發火したるも直ちに消止めたる爲め損害額輕微なり▲午前十一時半頃に至り慶雲洞八十一番地方閔遠方より發火し屋根に燃え移りたるも直に消止む原因は多分小兒の弄火ならんと▲午後八時頃市外往十里新堂の農家前山美方にて洋燈を點火したる儘吊して就寢したるに該洋燈逆火となりて破裂し疊に燃え移りたるを家人が發見して消止む

景品で一世帶持てる

花月美人の總見=盲でも見て置かねば話が出來ぬ=明日は天勝孃等の變裝競爭=福引は十日間の延期

家庭博は既う後十日餘りとなつたので未た見ぬ人は見落してはなりませぬと今日此頃は大變な賑ひ、十九日のお正午頃には花月の

▲藝妓の總見 があつた、家庭博も見方に由つては種々と面白く見える、『瓦斯臺所』と『一疊半のお臺所』などは餘程藝妓連の目を惹いたらしい『妾なんか世帶を持つたら遣繰小綺麗にしたお臺所を拵える』は『眞個に便利でいゝはね』と皆が々熱心に見て行く、歸りには『お慰みの景品』二十餘人で交はる〳〵引いた籠の中には出たり出たり、若菊は見事に

▲四等の一圓 を當て縁起がよいと喜ぶ、花龍は白米二斗さし子は木炭一俵『妾困まつたワ、姐さんドーして持つて歸りませう』と心配、若一とお加代は大好物のお汁粉一杯を當て、妾は此方がよい、小高櫻正宗を當てゝ之れが何より、若子は首ふり人形を當てゝ弄つて居る、其他二十餘名の當つたのを合はすと

▲丁度一世帶 にする位、皆は縁起がよいと大喜び、午後

には前島男爵に富田儀作翁等知名の士も來觀せられる、其れから面白いのは盲人が二人連れで見物に來た、ドーして來たかと聞くと『評判の家庭博を知りませんと人さんと話する時困ります、觸つた丈でも來て置けば解ります、カチカチ山はドコにあるんですか、フムすると此前に評判の『安さん』が居るんですな』と

▲手探で見物 して居た、明日は別項社告にある通り天勝孃以下一行美人連の懸賞付き變裝美人探しもあれば慰みの景品デーは十日間延期となり今迄の上に一等から四等までの本籤は二百五十本加へられ其れに臨時寄贈の番外景品は積んで山の如き盛況を呈して居る

天勝變裝探し

▲天勝と一座の美人總出 =二十日夜=家庭博場內にて=

▲天勝を捕へた人には十圓の賞金

▲其外の變裝者(男子三人女子三人)を捕へたら賞金二圓 詳くは明朝刊を見よ

◎變裝者の寫眞は朝刊に掲載した上場內にも大きく掲げます

特別寫眞

活寫界の大呼ものたる名優尾上松之助出演の松平騷動は當座の初舞臺に提供す映畫の鮮明と背景の優雅は御觀覽の御評判に俟つ

至急供觀 壽座 電話五七八番

菊花大會

◎場所 共進會場内慶會樓階下

◎期日 十月二十四日より二十八日まで

◎觀覽 無料何人も入場御隨意

◎景品 審査員に於て審查の上一二等は銀盃三等以下五等迄は相當の物品を呈す景品總數百八十六點

◎出品 一人に付五鉢以上とし二十日以降迎秋門より持込まれたし

京城協贊會

◎武德祭 黄金町武德館にて今回開館三週年の記念として二十四日午前八時より武德祭を行なひ擊劍試合ある由なるが賞品として堀要刀劍店より一尺七寸の來俊國の刀中村傳次郞氏より刀鍛屋より優勝旗二本の寄贈ありたり

◎名譽の醬油 仁川日本醬油會社醸造の醬油は各地品評會の博覽會に於て常に金牌受領の名譽を得たるが今回の共進會に於て又復名譽の金牌を受領せり

◎暴風警報(十月十九日午前九時五十五分仁川觀測所發)
時文 風强かるべし▲低氣壓位置仁川▲同示度七百六十ミリ▲進行方向東▲警戒區域北部及中部

▲廣告▼

本場名仙

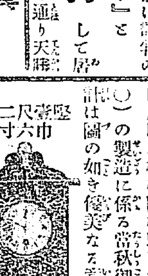
一反只の二圓八十錢

數年間呉服類の破格投賣をなし已に數萬の御得意先を有し手堅に營業なしつゝある東京市日本橋區本石町一丁目呉服問屋關谷商店が多物見切品の中純絹保證節糸織一反タツタ三圓八十錢新柄奇抜本場名仙一反タツタ二圓八十錢に投げ飛し同業者を驚かせたるさへあるに大見切賣出しの記念として優美高尙なる西京西陣製の珍柄新羽二重片側女帶地を前記ドレデモ一反の注文毎に一筋宛の無代進呈をなすと云ふ破天荒の大英斷は同店一流の飛び放れたる壯擧にて到底他店の模倣の出來ぬ事共也因に地方の希望者はハガキにて男女別年齡を記し申込ば責任を持ちて柄合親切に選び送料も實費で送る由

御大典と記念時計

▽特價金壹圓四拾錢

今回時計界にて有名なる東京芝區宇田川町小櫻商際松野商會(電芝六九〇)の製造に係る當秋御大典記念時計は圖の如き優美なる意匠を施すに三種の神器及桐花を鏤め種々色彩を用ひ頗る堅牢且つ時間正確事務室書齋等に此上なき記念裝飾品にして目下非常の賣行に付此際愛國家諸子に普く配付の目的を以て特に前記の破格にて發賣せり希望者はハガキにて申込ば直に引替小包送料實費にて送附する由



法人登記

廣州地方金融組合理事今井國三ハ大正四年九月貳拾五日退職シ同日左記ノ者理事ニ任命セラル

京畿道廣州郡中垈面松坡里百貳拾番地 武野村勝三郎

右大正四年拾月拾五日登記

京城地方法院 廣州出張所

廣告

當銀行臨時休業中ハ不一方御迷惑相掛申候段奉謝候就テハ倉々整理事務完了ニ付來ル二十日ヨリ開業可仕候間倍舊御愛顧ノ程奉願候也

大正四年十月十九日

株式會社 韓一銀行本店
同 梨峴派出所
株式會社 韓一銀行 東幕出張所

期米

取引確實 定期米賣買之榮無代進呈す前金注文は紹介を要せず

大阪市北區堂島濱通一丁目 大阪堂島米穀取引所仲買人 入江商店 電話東長一一九六 一七九五 二三六一

秘密嚴守

御下宿

十燭光電燈付六疊(御一人十二圓御二人十八圓五十錢宛)

明治町一丁目(瀧川銃砲店横) 秋田屋

廣島名産 山まゆ織

各物品目錄御一報次第柄見本進呈す

廣島市大手町二丁目 髙橋光時商店 振替大阪二〇三九

醇良清酒

仁川本町四丁目 吉金酒店 電話七六四番

荊妻トシ儀豫而病氣之處養生不相叶十八日午後九時死去候に付此段辱知諸君に謹告候追て葬式の義は途中葬列を廢し十月二十日午後四時南山町東本願寺に於て葬儀相營み可申候尚贈花放鳥等の儀は堅く御斷り申上候

近藤脩
親族總代 種村八左衛門 小林源六
友人總代 佐野彦藏 林慶太郎 河村千治郎 古閑豊記 藤原熊太郎

父秀剛儀病氣の處養生不相叶去る十七日午後一時死去仕候間此段辱知諸君に謹告仕候也
葬式の儀は來る二十一日午後四時半自宅出棺長沙洞妙心寺別院に於て執行可仕候

十月十九日 男 相浦邦彦 親戚一同

葬具萬般整頓罷在り斯業に經驗深き者專ら業に當り如何なる御儀式にも決して差閊無之候

京城大和町一丁目(總監部通) 大和葬儀舍 電話二四三八番

電話一五六七番 旭町二丁目(名古屋城下) 株式會社京城葬儀社

本社は支店出張所等無之に付御用の節は直接御用命願上候 靈柩馬車の設備有之候

二川屋事 中河原重吉 井上芳太郎 電話九五七番

商況

東株第一 一六五、〇〇 一六四、七〇
東株第二 一六三、九〇 一六三、八〇
東新第一 一三八、〇〇 一三七、九〇

債券現物特電 十八日前場値段(前日との比較)

五分特別 九六、八〇
五分甲號 八〇、五〇
一回四分 七九、七〇
二回四分 九五、六〇

下關期米特電 ▲十九日前場 當限寄付 一二、三四 止 先限寄付 一二、六一

朝鮮物產特電

大阪株式特電

◎板値下げ 浪板類要は平板の好況に反し頗る不振にして現角手付高騰者の放映を鈍らしつゝあ

天氣 北又は西の風曇後晴れ 十月二十日

家庭博大景品デーの日延べ

家庭博の大景品デーは開始以來非常の盛況=而も一等より四等迄の籤が數十本殘つた=各方面から寄贈の景品も澤山殘つた=其の上飛入番外の景品申込が毎日續々現はれる=其數實に數萬點=此勢ひでは景品デーを止める譯には行かぬ=依て更に本社より「一等より四等迄」の籤を二百五十本追加し二十日より十日間日延べ=空籤一本もなし=今後の景品はいよ〳〵素破らしいもの許り

●群山檢米狀況

群山米穀檢査所を開始せるは既報せる如く九月廿一日にして檢査開始前群山在來の穀たる轄移出ありて檢査所開始後は毎日當業者の試驗的檢査移出米の檢査を受くるの外僅少の數量に過ぎざりしが本月に入り漸次數を加へ十月二十九日に至り檢査所開始以來始めて一千叺以上即ち千百五十六叺の輸移出米檢査を行ひたるが爾後本月十六日迄に檢査數量一日一千叺を超えたるは十一日二千四百七十五叺十二日二千二百七十五叺十五日二千二百七十四叺十六日三千零四十七叺にして客月廿一日檢査所開始以來本月十六日に至る二十六日間に於ける當港輸移出米檢査總數量は二萬零二百八十八叺なるが未だ上格米として合格せるもの無きは頗る遺憾なるも當業者の精選宜しきを得て少數再精選を注意せるの外未だ輸移出を禁止したる粗惡品無きは喜ぶべき現象なりと當事者は語れり

●出稼鮮人歸來

露領出稼の鮮人は例年結氷期前十月頃に至れば鄕土に歸來するを例とせるが本年は例年より早く八月下旬頃より歸來者あり爾後歸來者を增加しつゝあり此等歸來者は本年は各地歐洲戰亂の影響を受け不景氣なるを以て就勞口なく爲に歸來するを口實とせるも實際に於ては露國近來の補充兵徵集は意外に多數を要し歸化朝鮮人は順次徵集せらるゝの狀態となりたれば歸化鮮人は歸國の自由なるに乘じて續々歸還し徵集を免かるゝ手段を執るに至りたる爲め斯く歸來鮮人の增加を來せしものなりと云ふ因に九月以來本月上旬迄の淸津上陸浦鹽出稼人は九百八十九名にて其所持金は六萬三千三百五十九圓にて一人平均六十圓强に當るなり

●被害輕鐵復舊

全通は十一月末まで

客月上旬の豪雨に於て甚だしき慘害を蒙りたる淸津羅南間及び淸津會寧間輕便鐵道復舊工事は輕鐵經營者松本組に於て極力復舊工事を急ぎし爲め淸津羅南間は本月一日より運車開通又た淸津會寧間は先づ淸津蒼坪間の復舊を急ぎしに兩地間は破損の最も夥だしき鐘項涵通洞三里弱を除く外は六日開通七日より不通個所たる鐘項涵通洞間は牛馬車連絡に依りて營業を開始せり更に蒼坪以北會寧迄の線路は被害甚大にして軌條枕木等の材料全部流失したる個所多きを以て復舊最も困難なるも既に會寧蒼

●名士續々來る

前文相と柴田上院議員

前文部大臣小松原英太郎氏は十五日午後五時三分著列車にて群山著天野府尹以下數名裡里驛迄出迎へ群山驛には官民多數の出迎ありて特に各學校男女職員多數の出迎を受け谷口旅館に投宿し暫時休憩府尹以下の案內にて同日市街要所を視察し十六日午前中府尹各校長等の案內にて群山尋常高等小學校附屬幼稚園公立普通學校簡易水產學校農學校等の授業實況を視察し官民有志多數と各學校職員數名の見送りを受け群山發二番列車にて出發したり又た貴族院議員柴田嘉門氏も十六日午後五時三分著列車にて來群天野府尹千々松書記は裡里驛迄出迎へ停車場には各學校長職員一同其他官民數十名の出迎を受け直ちに天野府尹以下數名の先導にて腕車を驅つて市內各所を一巡し次で各校々長の案內にて各學校を視察し谷口旅館に一泊翌十七日午前六時十分發列車にて內地に向け出發したるが停車場には出迎同樣官民數職員の見送り盛んなりし因に天野府尹は大田驛迄見送りたり

坪双方より工事に著手せるを以て本年十一月末迄には全線開通せしむべき豫定なりと

●久留島氏と木浦

日報營業局

お伽噺の大家文部省普通教育調查囑託久留島武彥氏は京城日報營業局長川島喜業氏と共に十五日午後十時來木十六日午前中公立小學校にて生徒の爲め講演を爲し午後七時より木浦教育會及び京城日報木浦支局の發起にて學校講堂に於て主婦の責任と云ふ題にて約三時間に渉る講演を爲す聽講者無慮千數百名にして木浦未曾有の盛會なりし其の巧妙にして熱誠なる家庭教育講話は聽講者に多大なる印象を與へたり講演終了後木浦ホテルに於て盛大なる歡迎會を催せり同氏は川島營業局長と共に太田へ向け十七日一番列車にて出發せり

●考古學上の忠州

鳥居龍藏氏の講演

總督府の囑託により史料調查中の人類學泰斗帝國大學講師鳥居龍藏氏は忠淸北道淸州、報恩、鎭川、槐山の各郡を踏查し十二日來忠十三日午前中史蹟を調查し彈琴臺及び社稷山にて石斧、錘石を利柳面萬積里にて三千年以前の墳墓の蓋石を發見せり、是等は石器時代の遺物なりと謂ふ就中蓋石は考古學上の珍品にして忠州淸州間一等道路の路側に點在し扁平狀の巨石なるが忠州の色彩を飾る紅一點なりとて郡廳にては直に標木を樹て國寶として保存の手續を爲すべしと謂ふ。午後憲兵分隊にて中流以下白丁男女二十五名朝鮮人の骨格を測定したる後官民有志の懇請を容れ公立普通學校にて一場の講話を爲せり。軀幹矮小にして風采温厚の君子人たる氏は旅裝の儘登壇恰も大學の講座に立てるが如く背後に朝鮮地圖を懸け白亞を手にし咳一咳先づコンテンプラリーメソードの意義を簡略に述べ聽衆に考古學上のヒントを與へ三韓時代に於ける民族の分布狀態より三國の勃興を細叙し新羅時代の忠州を語るに漢城の背影とし風光明媚の中原京はデレーランドの代名詞なりとて古代に於るゴールドエーデの忠州を賞揚し加耶琴の由來及び彈琴臺の名稱起源を說くに加耶琴の發明者于勒の悲慘なる一生をローマン的に語り呉の蘇洲に似たるワイグリヒの彈琴臺は月落烏啼霜滿天の感ありとて聽衆を新羅時代の憧憬に心醉せしめ話頭一轉扶餘人種の南下より高句麗の統一及び高句麗と蒙古の國際關係より佛教傳來の徑路を細說し新羅時代の奈良に琴歸たる忠州は古代佛教の遺物豐饒にして忠北館の庭園に安座せる彌勒佛は西藏にて作刻したる蒙古佛にして成吉斯汗時代の遺物なりとて氏がコンテンプラリーメソードの該博なる講演は聽衆を醉はしめたり

●滿鮮境上より

安東縣常置員

▲長白府の警備 鴨綠江上流長白山一帶の森林は馬賊の根據地にして之が討伐に際し賊徒の國境を冒して爲に國際上紛爭を惹起することなきを保せざるに依り從來支那官憲に於ては討伐上非常の苦心を爲し居たるが今回段奉天將軍は長白府に大部隊の巡防兵を駐屯せしめ以て賊徒の掃蕩を期す可き旨東邊鎭守使に命令を發せり從來長白府は比較的多數の軍警駐屯すると共に一面には對岸惠山鎭に我守備隊憲兵隊等の在るありて上流に於ける採木公司分局所在地中最も安全なる土地として認められ居たるに拘はらず去る九月には百餘の賊徒大擧して襲來せるあり當時採木公司分局の如き亦彼等の侵害を受けて多額の金員を掠奪されたる以外更に二名の局員拉し去られたる椿事あり最近には同分局警備の我憲兵と巡警との衝突ありて彼我各一名宛の即死者を出せりとの報に接す支那當局は巡防の大部隊を常置して賊徒の掃蕩を期せんとするは結構なるも之に依て彼等軍警が多勢を恃んで橫暴の極事を敢すが如きなくんば幸也

▲新義州奉祝協議 新義州にては十五日午後八時より府廳樓上に官民有志の集會を開き御大典奉祝に關する協議を凝せるが深川府尹の提案に對し異論百出容易に決せず結局委員附託となりたるが該委員は府尹に於て不日指命の上記念事業並に奉祝準備に就き適宜の方法を選び更に委員の決定案に就いて協議を重ぬる事として散會せり

●連絡船上陸客

十八日午前釜山入港新羅丸 一二等客

一等(四名)宇佐美桂一郎、大竹太郎、齋藤宗三郎、外人一名 二等(八十名)稲甲興信、光岡たつ、金井久次郎、同けい、同文子、芥川きよ子、水町一介、中西幸太郎、秋田又太郎、同たみ、山下龍太郎、同榮、本田安五郎、同まつ、佐川榮次郎、畑山善作、大瀬林八、關口勇、野崎信幸、佐々木重三郎、河地觀鋼、同仲子、同靜子、同智枝子、谷喜昌太、小川源太郎、橋本かつ、中西虎吉、福田吉三、河村重一、竹田傳七、武田仙太郎、田中新吉、南波濟三郎(以下栃木縣觀光團)安達常正、加藤啟三郎、石井仁平、中枝武雄、渡邊經、岡田泉二郎、西端鋼二郎、新保寅次、金田安之助、大場市一郎、長安太郎、小泉市太郎、小河瀬三郎、岩上恒次郎、青木里次、秋田啓三郎、神田藤吾、福富津四郎、藤沼隆次、石井仙吉、渡邊喜代藏、手塚武三郎、河合長藏、神野百武、峯岸國三郎、萩原藤作、遠藤源吉、石下浩、田中浩、同外吉、堀江鶴吉、渡邊鋼吉、臼井友四郎、笠井捨松、金沼米太郎、田村信三郎、松崎昇太郎、柿沼音松、大橋清吉、青木藤作、若島岩夫、七字魁、新開謙御、外五名(姓名不詳)三等(百八十七名)

十八日午後入港對馬丸 一二等客

一等(五名) 乾九、李丙吉、李興成、金鍾璉、李完九 二等(三十三名)石崎實學、赤木萬二郎、小河原觀照、宮原鍵雄、豐島かつ、同はる、同貞子、同信子、小林さみ、榮山議雄、山原文太郎、五味銀之丞、北生實、荒木捨作(以下十九名團體)伊藤孫左衞門、同鐘之助、大淵彌兵衞、小尾悅太郎、渡邊榮吉、渡部寅吉、加藤萬太郎、片岡久次郎、川口榮一、土屋讓一、北田武雄、松井三次郎、青木淸三郎、篠田利兵衞、同彥太郎、杉山重次、中川三右衞門、高橋健太郎、馬淵純三、三等(五十三名)

演藝案內

壽座 町 電話五七八
鮮明優雅、嶄新奇拔大活動寫眞
來る十八日(第十二回)より夜午後五時より開場
▲新派『人の思』上中下 ▲舊派『松平騷動』上中下、尾上松之助一座 ▲泰西探偵劇『闇黑城』上、中、下 ▲泰西探偵劇 ▲ 溺根、立花一座

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店

龍光館 龍山停車場前 電話(龍山)四一番
▲十月十三日より ▲十月十八日より番組差換
(以下細字)

佐久良座 龍山
新派『家庭教育劇』大橋幸太郎一行
當る十月廿日初日開演
▲入場者三百名迄に限り精菓子贈呈す

遺憾ながら 大正館の忠臣藏は今明日限り

御成座 町 電話二九一
第三十七回替藝題
(一)新劇『弓張月』全八場
(二)舊劇藤栗毛…全二場
▲登場人名 伊津美次郎、石黑史郎、芥川秀夫、吉田雄、藤井鷹之介、酒田君夫、…小池水月…

大正館 井町 電話八七三番
▲十月十三日より臨時特別大興行
▲如何大好評を博し到る所に於て大入滿員を占めた實錄忠臣藏全通し
▲日活會社新派俳優尾上松之助 市川莚二郎 合同
▲全十二卷二萬二千尺幻燈映寫時間たつた五時間
▲日活會社專屬特別寫眞又は其他寫眞は當館
▲本日招待券御斷り…

見逃す勿れ!! 黃金館の二大寫眞
▲軍事活劇 鐵壁 七千尺
▲新派悲劇 花筏 五千尺

有樂館 新築落成本町 電話二六六
十月十五日より大寫眞提供
○實寫『印度巡り』○泰西…
▲日活會社の大傑作『顧の網』…

浪花館 明治町 電話二六〇番
●特別大興行
東京落語大一座桂小南一行來る
…

東京帝國大學藥學專攻 藥學得業士金澤叢鑑製

四日分◎廿錢◎一週分◎一〇五十錢

ニキビ、吹出物、カユガリ、油顏、赤鼻其他皮膚ドス黑く色澤惡き等は概ね體內胃腸の變化より生ずる一種の毒素に原因す故に之を治療するには內服藥を以て體內より驅除するを可とす是れ現今皮膚病學上の趨勢なり本劑は此の學理に基き製造せる也

三錢切手封入本紙名記入申込次第實物公示の爲め無代送藥

東京根岸御院殿 電話下谷三五九番 金澤藥局

ハッピ。印手拭。風呂敷。其他印物。紋附萬染物
美術京染 釜山大廳町二丁目 鹿末染工場

●出鉛線益々强硬

(細字)

●秋になりて消毒防臭は最も必要なり一家の安全を計る人々は必ず アルボース を備へざるべからず

▲空前の大快擧!!

十月二十日(雨天順延)午前十時開始、選手五十名

京城 龍山 市街山野橫斷大競走

經過指定地 パコタ公園、南山公園、漢陽公園、南大門、龍山練兵場、同總督官邸前、同印刷所前 賞品 壹等より二十等迄

發著點 場內演藝館前

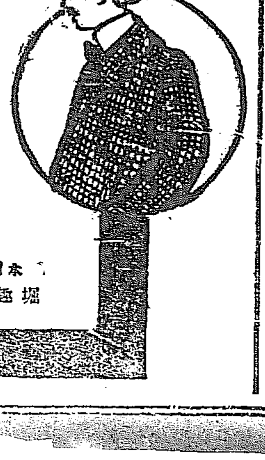
京城協賛會主催

ヒゲソリ後 又は朝夕洗面後

紳士の理想的顏料として

ホーカー液は

東京、橫濱、大阪、名古屋、京都、神戶等 各都市に蓄圓活躍せらるゝ紳士間に頗る高評を博す



本舖 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店

最上 龍 醬油

始政五年記念朝鮮物產共進會に於て

金牌受領

李王家御買上の光榮を賜はる

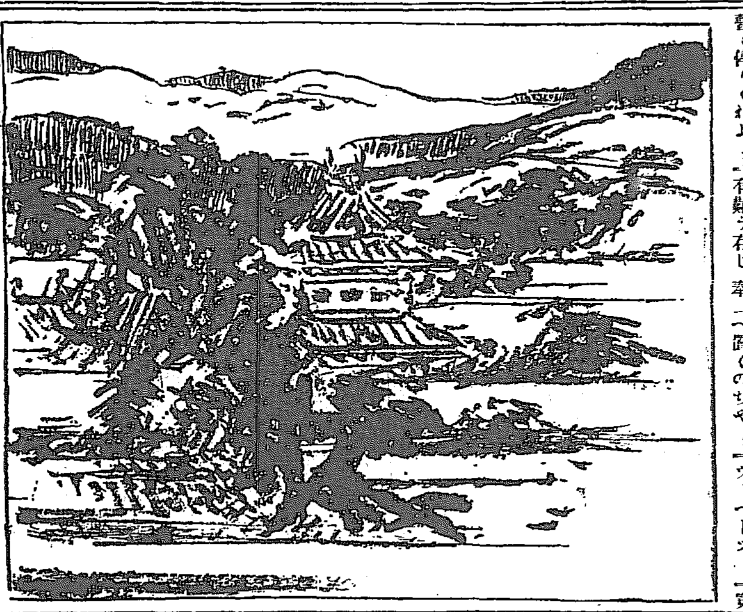
醸造元仁川府 日本醬油株式會社

越後大評定

第十八席 早川貞水口演

家康秀康を諭す

▲扨も秀康公、駿河國府中龍頭山幾隠の御城へ御着になると、駿府城にては粗忽のないやうにと、皆十分の用意を致す。御家來方は腫物に觸るやうな心持で、大御所家康公よりも秀康公を恐れて居るから、それ〳〵御出迎へ致す、誠に御機嫌よく、是に大御所に御目通り遊ばし 秀『恐れながら父上には、相變らず御機嫌麗はしく、秀康喜ばしく存じ奉る 家『秀康遠路參覲御苦勞に存ずる。能うこそ駿河へ立寄りくれたり、久々のこと暫く停りくれよ 秀『有難う存じ奉ろ』是から越前福井の事など漸々御話し申し上げると 家『コリヤ秀康、其方に見すべきものあり』と仰せられ、御近侍に仰せ付けられ日本の繪圖面を御取出しに相成り 家『秀康この繪圖を見よ 秀『ハッ 家『この加能越三ケ國の内、石川郡尾上城(今金澤と改まる)には此前田大納言利家の息、肥前守利長控へ居る、是は太閤恩顧の大名にして、殊に因縁深し此抑へは一朝事ある秋何人が致す、此方は老年にして最早餘命幾何もなし、依つて二代の將軍を控へたるが將軍は飾り物にして、此政權を大丈夫に致するは汝に在り、汝なればこそ、此處に在つて百萬石を押へることが出來るのである、是の所を能く考へて父が心を休め、朝廷へ御奉公を盡すは是即ち忠なり孝なり、其方は大量に致して、寬仁大度の者ぢやに依つて、宜く此父の心を酌み分けたならば、決して腹立つことはあるまい、如何ぢや』秀康公腹の中で、『親爺なか〳〵喰へない人物、繪圖面なぞを出して己に示し、貴樣でなければ、此地に居る者はない等と煽て込んで己の氣を休めようとする』と思召したが、流石御親子の間柄、御孝心深きに依つて『秀康福井に停る上からは縱令前田如何なる軍備用意に及ぶとも、失禮ながら父君の御出馬を仰ぐに及ばず、私一手にて治むること胸中に在り 家『イヤそれぢやに依つて此方が其方を彼處へ置くのぢや 秀『ウ、へーッ 家『寬綏逗留致せ』と仰せられる、そこで秀康公仕方がない『已は生涯七十五萬石、弟でも血を分けた者、之が將軍職と爲つて天下太平無事に治るとなれば、何も不滿を抱く所はない』と江戶の御怒りは何時しか晴れて、駿府滯在中、誠に御機嫌が宜しう御坐います、然るところ此程の御戰ひ御勝利となり、將軍宣下、二代公が出來たに就て、御臣下の大名は殘らず江戶城へ拜賀の御禮に罷り出で、其歸りには駿府へ來つて大御所に御目通りを致し、御杯を戴いて、天下泰平を祝し、我國へ皆な歸る、後れ走に出ましたのが、伊達藤五郎秀宗と云ふ、伊達中納言政宗の御惣領で御坐います此御方が駿河城へ御登城になり、大御所へ御目通りを致し、天下太平の御杯を頂戴すると、今御城中に秀康公御滯在と聞き『夫ぢや御珍らしい、予に於ては大阪城中に於て無二の朋友、秀康公に御目通り致さん』と秀康公へ申し入れる秀康公喜んで御會ひになる、戰場萬馬の間を往來して、互に武者言葉を遣つた、御交情の好い藤五郎で御坐いますから、孰れも打解けて語られた。



共進會最上のおみやげ 滋養大 關玄糖 **乃木餅** 一箱十錢 五十錢
京城本町三丁目舊前乃木餅屋 電話二七五三へ御注文迅速御屆し升

皮膚科 皮膚病 黴毒 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(旭町) **佐藤醫院** (電話一一七三番)

十月二十一日九星 若 九月十三日 乙酉 本命三碧東南北貧
▲三碧 謹なき言論を生ぜんとす新事見合坤の方は吉 暗劍東▲四綠 志願叶ひ轉居入學金件名弘造船求職婚禮待許出願等萬吉▲五黃 友に倒れとなる求有日注意新事手控萬事宜し▲六白 小謹を意味する日新事手控萬事は吉 角生に注意せらるべし▲七赤 だましに乘らなし ▲八白 福利の日轉居入學金談名弘出漁 心の事▲九紫 好況の日轉居求職婚禮 ▲一白 眼は數日轉居入學金談求職 ▲二黑 辻褄のあはぬ談有日

月やく 月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい身體に害なく通經する良法を御知らせ致ます
東京神田錦町三ノ一九 境田けい子

けをはやすほふ
毛生法

醫學士船津頌二先生が實驗の上其毛をはやす効能効大にして現世最もすぐれた毛はえ藥であることを證明せられたローエル液は禿頭病ぬけ毛うす毛腫物禿生えぎわ其他身體中あるべき所に毛なきに用ゐて皮膚に害なく奇妓に毛をはやしぬけ毛を止めますから一度おつかひになつた方は云ふに及ばず其特異の効果につき東京國民日日都やまと中央新聞以下全國諸大新聞に一齊に報道されて居ます希望の方は遠慮無くハガキで申込次第くはしい說明書封書で進呈す
東京芝區愛宕町三ノ二 電話芝一八七四番 **東京藥院**

最もよくきく松本の **ぢの藥**
内用 痔疾丸 十五錢 五十錢 一圓
外用 痔漏膏 十錢 十五錢 卅錢 五十錢 一圓
本舗 東京日本橋區本町 藥品問屋 松本長春堂

仁川期米 十九日前場 大阪前 寄十二 [illegible]
▲前場保合ふ [illegible]
市場零聞
▲前場の諸(?)[illegible]
京城正米 [illegible]
京城雜穀 [illegible]
南大門廻着米 [illegible]
十九日の十二月限 [illegible]

ひやくにん **百人**が百人ともコンな**便利**なものはないと**お喜びになる**

桃谷研究試驗部
顧問 ■丹波藥學博士 ■山本醫學博士
專任 ■桃谷藥學士 ■小磯藥學士 ■齋藤藥學士

白色美顔水

■御婦人は是非御一讀を賜へ■

▲御婦人方へ▼

▲秘密を一つ お傳致しませう。皆樣はよく、少しも態とらしい所がなく極く自然的にすつきりと美しく氣持の快いお化粧顏の人を御覽になるでせう。そして餘程お化粧上手の方が何か **▲一種特別の** 秘密な遣方で行らないでは彼あ行かぬとお思になるでせう。所が案外にも彼程の化粧が實に勞なく出來る時節と成ました。彼は有名な桃谷研究試驗部で、顧問の丹波 **▲山本両博士** の下に技師の三藥學士が完成した白色美顔水でお化粧したのです。さあ直試して御覽なさい。實に勞なく實に見事に全て生れつき色が白い人其儘の白さに附ます。一體 **▲従來の婦人** のお化粧は白ペンキの樣に白いか何となく薄黑いか斑かで、見て態とらしいか又は充分に綺麗に行かないので、婦人の苦痛の種になつてゐたのですが、白色美顔水で此 **▲心配が滿足** に解決されましたので、婦人方の喜び此上なく、忽ち大變な人氣を引起したのです。此品は一寸見た處は水白粉の形ですが、併しお使になれば直お分りの通り、決して **▲普通の水へ** 白粉を溶込んだ樣なものでなく、專門學者が新に發見した美容成分で、從來使はれた事の無い、美容上の効方の極く強い原料へ、或特殊の白粉を溶込んで製したもので **▲白粉の生命** こいふべき被覆力が強く、光澤の極美しく、色の淸淨純白な、實の極微い原料と新美容成分の不思議な作用で、生れつき色が白い樣につく化粧美のみならず更に生地の **▲皮膚の營養** こなり素顔の美を增す特色が在ます。自然的な本統に美しい化粧の途は此品で始めて開かれました。專任の三藥學士も、是は確に成功だ、と言つて自信を示してゐます

名物 **鯛めし** 折詰辨當
共進會開期中大勉强 仁川水族館正門前
會席御料理 **松乃家** (電話六二九番)
團隊多數の注文續々有之候に付可成前以て御申込被下度候

登録商標 **瓢水味淋** 澤鷹釀

月桂冠 專賣店 京城本町二丁目 **前田酒店** 電話九九八番

脳 病 良 藥

健脳は成功の素。
健脳丸は健脳の素。

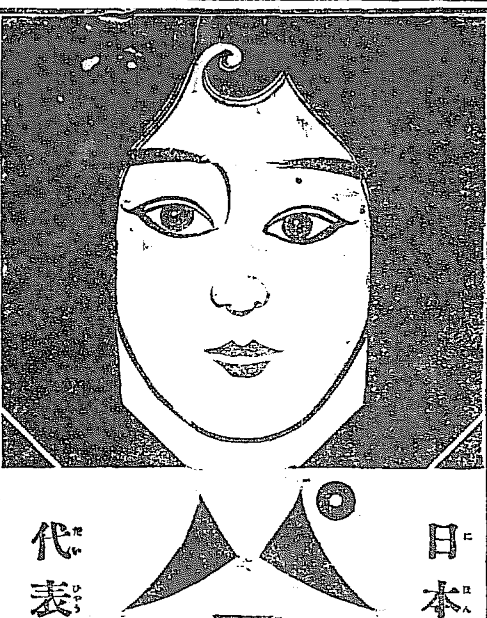
理想的の脳病最良藥を早く服用あれ!!!

主効 □脳充血□脳貧血□眩暈□脳膜炎□卒中□健忘□逆上症□憂鬱□便秘□神經痛□頭痛□癲癇

特長 健脳丸を常に少量宛持藥こせば逆上を引下げ便通を快くし恐る可き脳充血を快治し中風卒中を未發に防ぎ記憶力を增進する特効あり。

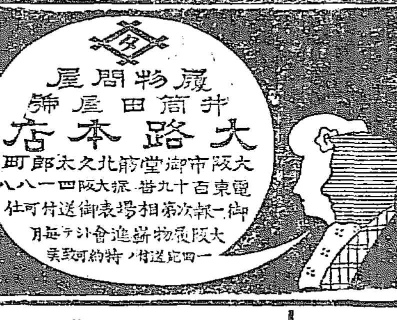
藥價 三日分 貳十錢 一週分 四十錢 二週分 八十五錢 三週分 一圓廿五錢 五週分 貳圓

全國藥店にあり



パール

日本を世界に代表する化粧料
煉香油 ポマード クリーム 白粉



りん病 ばい毒 專門藥房

吾が社は、天下に名の有る、りん病、ばい毒藥ならば如何なる世界の果てにても製造して當社にて常に實際の効力を試驗して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社のは他に無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、別に種も仕掛けもあるのではありません。有らゆる麻病梅毒藥の長所を採つて改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる藥でも、効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は本月三日及七日の京城日報を御覽下さい。●ばい毒藥一週間分普通壹圓貳拾錢特製參圓●りん病藥壹週間分普通貳圓特製參圓

京城南大門外停車場通り **ドラッグ商會**
電話二五六七番 本舗 大阪 合資會社 ドラッグ商會

院長 岡山醫學士 村上
內科 小兒科 婦人科 **京城醫院**
京城本町二丁目(電話[illegible])

露西亞物產雜貨一式 京米洋酒食料品 化粧品石鹸石器類 **西澤**

京城日報
年中無休刊
（第二千九百七十七號）
發行所 合資會社京城日報社

朝鮮統治の成績

蘇峯生

第四 恩威と寛猛

綏撫の大方針を貫行するには、寛猛兼濟、恩威併施するを、第一義とせざる可らず。併合當初より、我が大皇陛下の恩德を、朝鮮に垂れ給ふや、實に至れり、盡せり。李王家には一百五十萬圓の年額を賜はれり。其他の貴胄、功臣、碩德、名流、一藝一能ある者、皆な或は爵位を忝ふし、或は擢用を被る。其の併合當時に於て、貴族となり、叙爵せられたる者七十六人。而して當時臨時三千萬圓の恩賜金あり。貴族、功勞者、及び其の遺族、勅任、奏任、判任の官吏たりし者にして、之に預りたる者三千六百四十八人。班族儒生にして、尙齒の恩典に浴したる者、一萬二千三百餘人。孝子節婦の賞賜せられたる者三千二百餘人。鰥寡孤獨にして、惠恤せられたる者七萬九百餘人。而して臨時恩賜金の內、一千七百餘萬圓を割きて、之を府郡に分配し、以て民營の授産、敎育の補助、並に凶荒救濟の基金に充て、三百三十五萬圓を濟生院に下附し、孤兒、盲啞者の敎育、精神病者、及び窮民救療の資に供せられたり。惟ふに此の如き惠政は、朝鮮開闢以來、未曾有の事たりしならむ。若夫れ大赦を行ひ、積年の逋税、及び當年の租税を減免せられたるが如きは、今茲に毀々の辯を費す迄もなし。

然りと雖も徒らに朝鮮人民をして、驕兒の如くならしめ、放慢、增長、怠惰、縱恣ならしめたるは、決して總督施政の本旨にあらず。左なきだに朝鮮人に不足なるは、精勵、有爲の精神也。勉強、克己、紀律に服し、節制を守り、勸儉力行の資質也。之を惠恤して、之が訓練を施さずんば、斯民や其の温柔なる者は、惰民たり。其の驕兒なる者は、驕徒となる。是れ實に治者の最も心を用ゆ可き所にあらずや。

昔は諸葛孔明の蜀を治むるや、法令嚴明、一毫も假藉せず。民此を以て法の尊きを知れり。我が總督政治が、授産、衛生、敎育、其他に於て、餘力を剩さず、惠政を布きたると同時に、克く其の威嚴を維持し、慶んで之を畏れ、仰で之を敬し、國法の前には、貴賤、上下、貧富、強弱の差別を見ず、何等の用捨なきを知悉せしめたるは、主として世人が所謂る、警察政治、憲兵政治として非難する、我が朝鮮に於ける警察制度の功に歸せずんはあらず。而して此の制度を創定したるのみならず、能く其の機關を、今日迄活用し來れる功に歸せずんばあらず。而して裁判の嚴明と公平とが、總督政治の威嚴と信用とを、人民に徹底せしむるに有効なりし一事も、亦た特に大書す可き理由なくんはあらず。

凡そ恩威併施、寛猛兼濟は、實踐政治學いろはの紋切形也。何人も之を口にせざるはなく、又た何人も能く之を實行し得たる者はあらず。蓋し其の之を言ふは極めて易く、之を行ふは頗る難ければ也。但だ我が伯爵寺內總督に至りては、敢て理想的と云はざるも、稍や之に庶幾きものあり。特に其の有力なる朝鮮人士に對しても、能く彼等の意見を採納するに吝ならざると同時に、苟も一點の繩墨に外れたるあれば、寸毫も之を寬假せず。まゝ或は怨言を放つ者あるも、更に意とせざる也。乃ち李王家に對してさへも、敬禮の至れると與に、決して常軌以外に、逾するを許さゞる也。乃ち其の衆庶に對するや、復た知る可き也。此間の消息の機微に至りては、唯だ解事者と與に、之を談ず可きのみ。

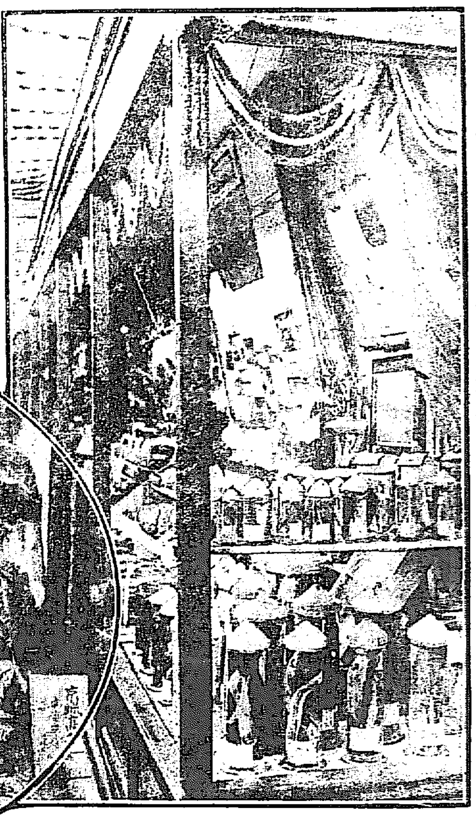
大共進會 出品概觀 第二號館（敎育）（三）

蠶兒飼育の經過比較表は各簡易農業學校の一齡乃至四齡上簇時の蠶兒並に繭生系の比較標本にして之亦斯道有益の參考たる可く、農具模型は鮮新舊各種の模型を造りて其の用途持長等を示し、利害得失を明ならしむるを目的とせるものにて海州及金州農業學校の敎師の製作に係り、農具改良上頗る有益の參考たるべし又現物を以て地方農民の常食物を比較せる農民常食物の標本は安州及び晉州農業學校敎師の製作に係り頗る興味あり、普通學校農業學校等の出品に係る穀類は出品數百點に達せるが就中米、麥、小豆等には優良品非常に多く又農産製造の澱粉も品質見るべきものあり、何は副業たる莚にも優良品少からざるは喜ぶ可く、繭及び生糸も亦普通學校、農業學校等の出品少からず、殊に普通學校より生糸の出品を見るに至りたるは其の進歩擧ぐべし、又た水産物は群山簡易水産學校及び海州公立農業學校等よりの數十點の出品あり就中群山公立簡易水産學校の如きは今年五月新設のものなるに斯く多數の出品を見るに至りたるは喜ぶべし

農業年中行事圖は大邱公立農業學校出品にして農業十二箇月の行事を燈籠に描き之を回轉裝置となして敎育部大通路上に吊せり、又場の入口に近き右手の一粒萬倍は慶南晉州農業學校敎師の出品に係り一粒の籾が一年後に如何に多方的に利用せらるゝかを具體的に表はせるものにして、一粒の米と雖も決して粗末になし得ざることを自覺せしむるに有益なり之れに次ぐ木通細工は主として忠北慶北の普通學校及び農業學校の出品にして其の精巧なる到底二三年前迄實業を卑下せる朝鮮兒童の作とは信せられざる程にして現に商品として市場に取引せらるゝの狀況なり、元來內地の小學校に於ける手工は大豆粘土、折紙、色板等主として形式的陶冶、敎育的價値に重きを置きたるも、今や我が朝鮮に於ける手工は專ら實用を主とし各地方特産物を利用し殖業と關連して將來一の財源たらしめんとするものにして石細工中硯の如き各地方より産する適良の石質を選定し或は實用に或は文人用に頗る見るべきあり、又萩細工、藁細工等も農業的手工として專ら實用を主とし簡易にして堅牢なる日用品の多數出品せられたるは注目すべき傾向なり何柞蠶は平安北道私立義州女子技藝學校の出品にて同地特産の柞蠶糸を用ひて靴下帶占等の日常用品を作れるもの外見美麗にて價額低廉也內地人の敎育部中京城日出及び西大門小學校敎師の製作に係る京城附近京城及び金剛山模型は體裁優美にして製作の堅牢なること他の模型出品中一頭地を抜き殆んど實品に比して遜色なく道産物の標本は慶北甘浦公立學校長の蒐集せるものにして海草及び貝類を網羅し排列整然たり敎授上有効なるべし

又算術科敎辨は江原春川公立小學校敎師の蒐集せしものにして算術の直觀敎授上有効なる資料なり、之に隣る大田附近昆蟲標本は忠南大田公立小學校敎師の捕獲せしものにして其製作精妙を極め之を各種類に分類したる處敎授上好箇の參考資料といふ可し

手工敎授用掛圖は京城櫻井公立小學校敎師の製作にして各學年別となせるが其の作圖考案輕妙にして有益なる敎辨物なり、又京城公立高等女學校出品の裁縫科敎材雛形は各學年に於ける敎材の雛形を生徒に裁縫せしめたるものにして系統的敎授を爲すに缺くべからざるものなる可く、理科敎授の系統的直觀資料は、慶南馬山公立小學校の出品にして自然物と三要素の加工品を系統的に實物を以て排列し、一見其の關係を明瞭ならしむ



水產物（右） 魚族模型（左）
——共進會第二號館——

閑餘隨錄

大谷光瑞

四、樂

唐太宗文皇帝は支那民族中第一の英雄なり、貞觀の治政漸く闌にして、四疆帝の命を奉ずと雖も極西猶王化を喜ばざるものあり、貞觀二十一年突厥種の勇將阿史那社爾を總司令官とし、鐵勒種驍將契苾何力を副とし鐵勒十三部の兵十萬を發し、西進し龜茲（今の新疆庫車地方）を討て之を平げ、武威西域に振ひ、天山南北葱嶺東西、皆唐の威力に慴伏す、捷書長安に達するや、皇帝喜で群臣を見て曰く『夫樂有幾、朕嘗言之、土城竹馬童兒樂也、飾金翠羅紈婦人樂也、貿遷有無商賈樂也、高官厚秩士大夫樂也、戰無前敵將帥樂也、四海寧一帝王樂也、朕今樂矣』其れ童兒に非らず、婦人に非らず、商賈に非らず士大夫に非らず、將帥に非らず、帝王に非らざる我は、果して何を樂まんや、富貴既に樂に非らず、富あれば之を衛らざるべからず、姦猾間を窺ひ、盜賊隙に聚る、憂心忡々、常に之を失はざらん事を患ひ、焦原に足を側て朔風に面を破り、猶沒々之を護らんとす、辛苦異常なり、我常に富豪を見るに之を憫まざるなし、彼れ財を散し人に傲ると雖も、一たび財を見れば叩頭跪坐、人理を絕するも猶之を得んとし、牛馬たるも辭する所に非らず、財の命ずる唯之從ふのみ、人を欺き自ら欺き、惴々焉として之に事へ、財を提ること鬼神を敬するが如し。彼抑も人に傲らんと欲するが爲め財を得んとするか、財神の虎威を籍て人に傲らんとするか、何の樂か其中に在んや、彼抑も財の奴たり、奴にして樂なきは素より其所なり、我樂を欲す故に之に與せざるなり。貴は之れ人の嫉む所、位貴くして禍多し、古來史上權貴にして早く退かざるに身を全ふするもの稀なり、唐の郭汾陽は有唐第一の權貴なり、身王爵を享け顯榮滿朝の上に在り、而て讒構を畏るゝや屋家開き阡陌を通じ人の來往を禁せず深し、戰々兢々薄氷を踏むが如く、漸く身を終るまで炎を招かず、長孫無忌の如き身國舅として太宗の朝に在り、而して其子高宗の世を御するや終に流竄困死を免れず、蓋し支那史乘のみならず、印度亦然り、我邦此例最も乏きに非らず、蒼蠅は腐肉に集り、讒構は權貴に聚る、其危き事百尺高竿の上に立つが如し、何の樂か之あらん、我欲せざるなり（此項未定）

◎即刻御註文至急御買入の必要は◎

京城協贊會發行
始政五年朝鮮物産共進會記念繪葉書
三枚組 金十二錢 送料二錢
石版數度刷金銀浮上げコロタイプ入の美麗なるものにして共進會の記念として唯一のものなり

朝鮮本部發行
日本赤十字社愛國婦人會記念繪葉書
三枚組 金十錢 送料二錢
總裁殿下御台臨總會記念スタンプ付高尙優美なる得難きものなり

始政五年記念繪葉書
四枚組 金十二錢 組料二錢
總督府景福宮及共進會場を意匠印刷したる好個の記念繪葉書なり

協贊會演藝館 日本藝妓 演舞繪葉書
五枚組 金十二錢 送料二錢
京城よりぬきの美妓が御代の榮への惣舞トつひのよるべの艶姿は是非に御一見願ひたきもの中券番京城券番發行の二種あり

協贊會演藝館 鮮人妓生 演舞記念繪葉書
四枚組 金十三錢 送料二錢
キーサンの盛裝やら舞姿を美術なる三色版にて意匠印刷したるものにして內地への御贈品には適當の繪葉書にして廣橋妓生組合茶洞妓生組合發行の二種あり

共進會光景繪葉書
十二枚組 金十八錢 送料二錢
十六枚組 金廿四錢 送料二錢
會場內の各館新舊諸建物及光景を實寫したるものにして此の繪葉書によりて居ながら壯大なる共進會を觀覽せらるべし

イルミネーション光景繪葉書
五枚組 金十錢 送料二錢
景福宮光化門慶會樓鐵道特設館電氣燈籠南大門等の電光燦然たる不夜城の光景を見るを得べし

共進會市中雜觀繪葉書
八枚組 金十二錢 送料二錢
京城市中の裝飾藝妓の家臺行列妓生の行列鮮人の假裝行列等殷賑を極むる盛況を知るに足る

共進會々場全景繪圖
大版 金五錢 送料二錢
會場の全景諸建造物に一々名稱を付して場內の光景を一目に詳知せらるもの

◎送料は三十匁迄二錢に付一組以上にても參十匁迄は差支へ無之候
◎代金引替小包にては送費高價を要し候間爲替又は弊店振替貯金口座京城四〇二番へ御振込の事御便利に有之候
◎十組以上取纏め御注文の節は送料負擔可仕候

京城本町二丁目
朝鮮名所風俗繪葉書發行元
內外繪葉書類 和洋額面額緣類 卸發賣元
日之出商行
振替貯金口座京城四〇二番

朝鮮總督府發行
始政五周年記念郵便繪葉書
十月一日發賣せられ直ちに賣切れとなりたる三枚一組のもの
京城郵便局記念スタンプ附買合手持品に限り金二十錢にて御分與致すべく候間即刻御注文被下度何時直段變動又は品切可致哉も難計候間豫め御了承被下度候

列強大戰

▲佛軍初陣 マケドニアにて

雅典來電に曰く、佛軍はウドボビランドボの鐵橋附近に於て四萬の勃牙利軍と交戰したるが是れ佛軍がマケドニアに於ける初陣にして戰鬪は尙ほ繼續せられつゝあり（紐育電報）

▲要地占領 巴爾幹方面

サロニカよりの報道に據れば塞國並に聯合國の軍隊はストルマニツツア及附近の鐵道を支配し得べき諸地點を占領し其守備を嚴にせり（紐育電報）

▲ドナ方面 露軍優勢

露都來公報に曰く、敵軍はドウヰンスク全線に於て引續き間斷無き攻擊を行ひたるも我軍の爲めに擊退せられたりスウンチン湖の北方にて露軍は獨軍の攻擊隊の側面に出で後方部隊との聯絡を斷ち多數の獨兵を捕虜としたり更に南方に於て露軍はボキンスコエ湖西岸なる敵軍全線を突破しドリスツキアテイオサ河を徒涉したりザートリスクの上流及びデラジの西方に當るスチールパ河畔の敵軍陣地を占領したり（紐育電報）

●伊國在米募債

伊太利は米國に於て償還期限一箇年の外債五百萬磅を募集し以て米伊間爲替相場の安定を期せんと計畫す（紐育電報）

◎カ政府承認 決定

華盛頓來電に曰く汎米會議列席者は（國務卿ランシング氏も出席）カランザ政府を事實上墨國政府として正式に承認す可きを決定せり（紐育電報）

◎帝政 黎徐兩氏

黎元洪氏の新宅は保護の名を以て袁氏の手兵多數之を監視し居るに因り黎氏は自由に外出することを得ず、徐世昌氏は尙ほ病床に在り帝政後黎徐兩氏の末路思ひ半に過ぐるものあらん、帝政派中には早くも獵官運動を開始せるものあり（北京特電）

◎大典祭日省令

一木內相は即位禮及び大嘗祭當日官國幣社以下の神社に於て行ふ祭日に關する件を定め十九日省令第十四號を以て公示せり（東京特電）

◎定例內閣會議

十九日は閣議定日に付首相以下各大臣は午前十時より首相官邸に參集し會議を開き石井外相の外交報告あり後大禮關係事項其他の政務打合せし臺灣民政長官後任々命の報告あり正午午餐を共にし午後外務正副參政官人選に關し協議する所あり略其人選を終り二時散會せり（東京特電）

◎大禮諸儀時間

十一月御擧行あらせらるべき即位禮當日賢所大前の儀以下の大禮諸儀の時間割を定められ御裁可を經て十九日正午大禮使より公表せられたり其主なるもの左の如し（東京特電）

賢所大前の儀　十日午前八時より十一時三十分まで
紫宸殿の儀　十日午後一時三十分より同四時三十分まで
內閣總理大臣「萬歲」を唱ふる時　午後三時三十分
大嘗宮の儀　十四日午後四時二十分より十五日午前五時まで
大饗第一日の儀　十六日正午より
同第二日の儀　十七日午後六時より

◎渡米諸名士歸る 橫濱埠頭の盛況

十九日拂曉橫濱に入港したる地洋丸には墨西哥より歸朝の安達公使同夫人を始め米國より歸朝の近藤造兵總監、日置默仙氏、海老名彈正氏及び梅ケ谷一行の渡米力士團等の歸朝にて橫濱埠頭は此諸名士出迎の爲非常なる盛況を呈せり此等諸名士は同日午前九時檢疫を了へ孰れも無事歸京したり（東京特電）

◎弘前御著輦

大演習御統監の爲め弘前に大纛を進め給ふ途次十八日仙臺行在所に御駐泊の大元帥陛下は十九日午前六時仙臺驛御發輦龍顏麗はしく午後五時二十四分弘前御著輦同地偕行社に入らせられたり（東京特電）

◎御眞影全州御著

御下賜の御眞影は大久保第一部長の奉戴にて十九日午後五時全州に御著相成りたり此日全市國旗を掲げ敬意を表し官民、學生、各團體多數北門內にて奉迎せり（全州特電）

◎小澤男爵一行

小澤男爵一行十九日午後八時大連に來著し主なる官民、赤十字社員多數停車場に出迎へたり（大連特電）

◎蜂須賀侯爵

蜂須賀侯爵は十七日旅順に赴き戰蹟を視察十八日は大連名所を見物し夜は中村滿鐵總裁の晚餐會に臨みたり十九日尙ほ一泊して二十日出發歸東の筈（大連特電）

東京發別電

▲獨人印度煽動

獨逸人は印度人を煽動して英國に反旗を飜さしめんと謀り武器を送り込みたること發覺す

▲政府與黨の亂脈

十八日の政府與黨聯合懇親會は中止となれり與黨の足並亂れ初めたり

▲民政長官任命

十九日閣議に於て臺灣民政長官に下村宏氏を任命することに決す

▲新大學令

十八日の教育調査會に於て大學令案を骨拔と爲し帝大側と調和を圖ることゝせり

▲取引所反對す

米穀取引所は政府の米價調節案に全部反對す

▲龍口開港

龍口は十一月一日より開港することに支那通知す

▲砲彈四百萬亦註文

露國より復又日本へ三吋砲彈四百萬個註文し來りしを以て川崎造船所、石川島造船所及神戸製鋼會社に於て一個十五圓を以て之が製造を下請す可し

▲問題と日本の通牒

帝政問題に關する日本政府の支那政府に對する通牒は近く發表せらる可し

▲大隈首相と兩問題

大隈首相語つて曰く大浦氏既に公生涯を捨てたる今日政治問題を離れ一個人問題として飽迄之を追窮するは餘りに峻酷なり乃木家再興は畏くも聖旨に基くものなれば臣民として是非の論議は斷じて避けざる可らず云々

報

●天杯拜受者數 四萬人に達せん

御大典に際し天杯下賜の光榮に浴す可き朝鮮內の長壽者は當初滿八十歲以上に就き調査せしに內鮮人を合し三萬人を算したるが其後八十歲は呼び聲により計算することゝなりし爲め當局に於ては更に再調中なれば不日査了の上發表さる可きも今の處にては四萬に近きものゝ如しと因に三組の天杯を下賜せらる可き百歲以上の長壽者は八十餘名に及べりと

●朝鮮貿易

關稅課長 宮木又七

左は過般全國金融業大會席上に於て宮木關稅課長の試みたる演說の草稿なり、當事者の參考に資する處鮮少ならざる可きを以て氏の承認を經て茲に採錄することゝなせり

一、貿易の趨勢

朝鮮は御承知の通り積年惡政に苦しめられ産業經濟萎靡として振はず誠に貧弱を極めたりしが故に之を保護改善し發達を期するに當りてや素より民間諸士の奮勵に俟ち處多きも而かも創始的諸般の施設は政府の經營に依るを要せしを以て統監政治以來漸く力を産業上の經營に致し、明治四十三年半島の帝國に領有せられて以來總督は專ら力を産業經濟の發展に致され、港灣の改築、鐵道敷設、道路改修、沿岸航路開始、其他貿易上關稅制度を改正する等從來と比し面目を一新したるを以て朝鮮の貿易は顯著なる增進を告げたり、今試みに之れを述ぶれば、朝鮮の貿易は日露戰役の當時に於ては金銀を併せて輸出千三百萬圓、輸入三千四百萬圓合計四千七百萬圓にして恰も內地の明治三年頃の貿易額に彷彿たるものなりしが、爾來歲と共に進み殊に併合以來は

▲急激の增加 を示し併合の年、即ち明治四十三年と昨大正三年とを比較するに輸出貿易は二千八百九十萬圓より四千四百萬圓となりて五割を增加し、輸入貿易は三千九百七十萬圓より六千三百二十萬圓となりて六割を增加したり、今之を品種に依りて區別するときは、農産及び林産品は千三百五十萬圓より二千三百九十萬圓に上り、畜産品は百七十萬圓より二百二十萬圓に達し、鑛産品は千三十萬圓より一千百四十萬圓に上り、水産品は百三萬圓より二百四十萬圓に激進したり、但し水産に就き注意す可きは朝鮮の漁場より直に漁船の儘內地に出すものは此統計の外にして此分昨年は約三百八十萬圓の見込なり、而して製造品は百二十萬圓より二百八十萬圓に上り、其增加の割合は農産物にて七割七分、畜産物にて三割、鑛産物にて一割、水産品にて十三割、製造品にて同じく十三割の增加にして發展の程度は水産と製造品とに殊に著しきものあり、次に

▲輸移入貿易 に至りては同じく明治四十三年と大正三年とを比較するに、織物等衣服品は千五百萬圓より二千十五萬圓に上り、食料品は五百六萬圓より千二百二十八萬圓に上り、産業原料品は千九十九萬圓より千三百二萬圓に上り、石油、薪炭、煙草等日用品は五百二十一萬圓より六百九十一萬圓に上り、家具器具は三百四十二萬圓より四百七十四萬圓に增加したり、即ち各品の增進步合を見るに衣料品は三割、食料品は十四割、産業用品は七割、日用品は四割、家具類は四割の割合にして食料品の十四割を示したるは驚く可きが如きも畢竟大正元年の米作不良なりし爲め食料不足し大正二年に於て外國米及び滿洲粟の輸入多額に上り昨年も新米收獲迄は相當の輸入を繼續したるに基くものにして全く臨時的の現象に外ならざるが故に今此輸入を除外して見るときは昨年は明治四十三年に比し十四割に非ずして六割八分の增加に過ぎず、即ち過去五年間に在りて最も增進の大なるものは産業用品の七割なりとす

●奉天の金融界 正金支店利下

日支交涉並に排貨の餘焰により各種輸入品の拂底其極に達せしが九月は恰も仲秋節を控へし爲め輸入品の需用相當の額に上りしのみならず一時相場先高の見込なること、二銀高なりしと特産物出廻りを見越したる上に仲秋節の大決算期に會せし爲め洋銀相場常に强含みを呈し月初に比し二圓方引き返したること、三一箇月後代金決濟を爲す可き時期には洋銀相場更に騰貴す可き見込なること、四追々特産物出廻りに連れ與地雜貨物の增加す可きこと等の各種原因何れも輸入商に取り有利なりしかば大手筋の買物多く爲めに同月の輸入は多大の增加を呈したるものゝ如し之れに反し輸出は羊毛其他皮革類の相場騰貴につれ相當活氣を呈せしも各銀行共に品質上の警戒により容易に金融の便を與へ得ざりし爲め輸出澁滯しからざりしのみならず特産物亦漸く月末に至り走り物の出でし而已にして何等纏まりたる取引を見ず極めて閑散裡に越月したり因に正金銀行に於ては月末に至り第三次金利引下を實行せしも他銀行は總て形勢觀望中にして市中金融上には別段の反響を與へざりし如しと

●共進會と鐵道輸送 三十日間の成績

朝鮮鐵道局調査に依る去月十一日即ち始政五年朝鮮物産共進會開會當日より十月十日に至る三十日間に於ける共進會に關する輸送成績を見るに累計旅客延人員十四萬一千六百十六人其の賃金實に十一萬三千卅一圓四十五錢を計上せるが今之を細別すれば團體延人員八萬七百六十九人賃金八萬七千七百六十圓八十二錢京仁線割引延人員五萬九千七百十八人割引賃金一萬八千三百八圓九十錢連絡割引延人員千百二十九人賃金六千九百五十一圓七十三錢にして此の外貨物噸數二百六十九噸賃金二千五百四十三圓〇九錢收入合計十一萬五千五百六十四圓五十九錢を計上せりと尙一日平均は貨物噸數九噸賃金八十四圓七十七錢旅客に於て四千七百二十一人賃金三千七百六十七圓三十八錢合計一日平均收入三千八百五十二圓十五錢を示せりと

●京畿道生産力

京畿道の重要物産たる家畜家禽水産雜穀果物等に於ける併合當時と大正三年度の生産力の比較統計に就き最近の調査に依れば三年度の總生産額は三千二百六十三萬餘圓にして併合當時の千七百六十九萬圓に對比すれば差引千四百九十三萬餘圓を增加し今之を一戸當りに見るときは併合當時即ち四十三年度は一戸の生産力は五十六圓九十一錢なりしに對し三年度に於ては九十六圓二錢即ち三十九圓五錢を增し更に之を一人當りに見れば三年度は十九圓廿一錢なるに對し四十三年度は十一圓四十三錢にて差引六圓八十錢を增進したり而して其他鑛産品として約一千萬圓を産出せりと

●人肥協定破裂

人造肥料は夏枯後米價安のため賣行依然として不振を極め中には原料補給難の爲め漸々生産減少を圖れるものあれど資金關係より持堪ゆるの不利益なるを以て寧ろ之を製造して資金融通の途を拓くを得策とさせるものありて價格協定は今春前の無協定時代と同樣の狀態に陷り協定は事實に於て全く破壞を見るに至れり依て聯合會にては各務書記長を下阪せしめ同業會社に對して協定維持に關し懇請しつゝあるが二三會社を除く外協定會社は內地に於て優劣あるものを同一規約を以て律せんとする弊あり且つ住友製肥所の如き聯合會の埒外にありて競爭の態度を取れるが故に協定の如き窮屈なる束縛を受くるを欲せずと稱し居れば之が結束は困難ならんと觀測せらる（大阪）

●スタージ博士旅程

來鮮中のスタージ博士は十八日平壤に向ひたるが十九日午後七時半南大門著にて再び入京し二十日は學務局員の案內にて府內の各學校を參觀し夜は龍山鐵道青年會に於て講演二十一日朝南大門發大邱釜山等に於て講演會に臨み東上の筈なり

●寧越永春間電線架設

江原道寧越永春間は交通最も不便にして常に一般電信の架設を期待しつゝありしが今回愈々開設せらるゝことゝなり九月二十九日より工事に著手し十月十日架設を終りたるを以て來二十四日頃より開通するに至るべし

人事消息

▲岩崎男爵　十八日入京朝鮮ホテルへ
▲桑原道長官　十九日入京巴城館へ
▲福田平壤警察署長　十八日入京不知火へ
▲ケフトレー氏（京城駐劄副領事）　十八日下の關より入京
▲古在、本田兩農學博士　十九日水原へ
▲小原慶南道長官　同日長致院へ
▲宇佐美桂一郎氏（工學博士）　十八日入京山本旅館へ
▲大竹太郎氏（同）　同上
▲三田善喜氏（咸北第一部長）　十八日歸任
▲岩淵友次氏（會寧慈惠醫院長）　同上
▲齋藤糸平氏（鏡城慈惠醫院長）　同上
▲岩崎虎次郎氏（全州農銀支配人）　同上
▲森悟一氏（光州農銀支配人）　同上
▲中西喜久男氏（平安農銀支配人）　同上
▲石川國幹氏（淸州慈惠醫院長）　十八日歸任
▲德富猪一郎氏（本社監督）　二十日午前八時三十分出發歸東
▲勝原邦槌氏（淸津郵便局長）　十九日夜入京東京旅館へ
▲本多農學博士（水原模範場長）　十九日出發歸任
▲古在農學博士（帝大教授）　同上
▲中部鐵道管理局視察團　同上出發
▲松室重光氏（關東都督府土木課長）　十九日夜入京旭屋へ
▲野口小一氏（土木局淸津出張所長）　同上

▲空前の大快擧!!

十月二十日（雨天順延）午前十時開始、選手五十名

京城龍山 市街山野橫斷大競走

經過指定地　パコダ公園、南山公園、漢陽公園、南大門 龍山練兵場、同總督官邸前、同印刷所前

發著點　場內演藝館前　賞品　壹等より二十等迄

京城協贊會主催

目錄送呈

◎完全無比の實用經濟 覇王グラス萬年筆

米國パアレット會社製 眞正十四金ペン先付 最新インキ止式

●諸官衙銀行會社其他團體にて多數御購買の向へは特に割引仕候

●朝鮮總代理店 京城本町二丁目（電話四五番）振替京城二五六番 釘本藤次郎本店

於大共進會

弊店製靴は始政五年記念物産共進會の褒賞授與式に於て名譽なる金牌受領の光榮に浴し候は江湖諸彥の深厚なる御同情の賜と深く感謝奉り候今後は一層奮勵品質の優良と卓越なる技巧を以て御高志に酬ひんことを期し申候

京城本町一丁目（郵便局橫）電話一四七七番

北村靴店

新製品 大賣出

兩切捲煙草二十本入

金貳錢

大共進會記念として發賣したる兩切煙草一圓票は一般の人氣沸が如

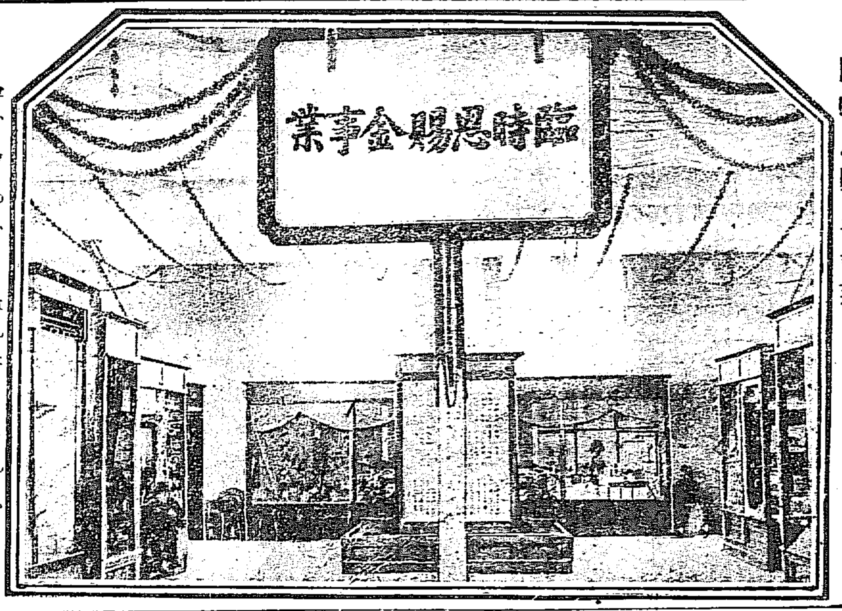
◎一本の煙草に勞苦を忘れよ。

◎一本の煙草より大理想を發見す。

◎一本の價僅に一厘也

廣江商會

宇治川水　十九日前場　六三、三〇　六三、五〇
神戶電鐵　五一、一〇　五一、一〇
大阪株式
大阪三品　十一月限　一二八、六〇　一二八、五〇
下關期米
仁川米豆取引所
十九日の十二月限
賣買取組高



臨時恩賜金事業(共進會第二號館)

生氣溢る、半島の山河
二號館の臨時恩賜授產事業成績

共進會の第二號を這入つて左側を見てゆくと臨時恩賜事業の成績を各道別に陳列した一區劃がある、その面積は八十坪であるとか、此の餘り廣くもない小區域の內によく各道の**△同事業の成績**が整頓して配列されてゐる、その正面の大きな衝立には恩賜事業の由來と道別配與額とが記してある、恩賜事業は日韓併合の際聖旨によつて一千七百三十九萬六千圓を下賜され、それを授產教育、凶歉、救濟の費に充てたのであるその配分額は京畿道の二百六十四萬圓慶北の二百四萬圓全南の百六十九萬圓を最高として咸北の五十五萬圓を最少とし各百萬圓內外の**△恩賜公債基金**を有してゐる、一瞥すると道が基金額の最も多い京畿道は事業の種類も多い、陳列場の上段には事業の經過及び成績の統計を揭げ中段には大幅の油繪で舊時の農產及び機織の狀態を表はし下段には主なる授產事業の施設即ち甘藷苗、馬鈴薯種の配付、延叺の傳習、稻扱の傳習、農作、養豚、養鷄の實習、蠶業、機業等の狀況を巧みな模型で示しその前にはそれ等の**△事業の生產品**である雞卵生絲、織物等が並べてある、此の外京畿道と向ひ合つた忠南、背後の忠北、各道共に模型又は寫眞を以て其概況を示し統計表や圖表で成績、その事業は各道其位置地勢によつて種類を異にしてゐるが臨海の地にあつては水產に意を注ぎ山間の所にあつては陸產物の改良發達に力を致してゐるなどよく聖旨を奉戴して益々その事業の經營に當り**△幸ひに成功を**收め得た各道長官の苦心が到る所に現はれてゐるのを認めないわけには行かぬ、斯くの如くにして洪大無窮なる皇室の恩澤は歲と共に二千萬の蒼生の上に潤ほひ前途洋々たる殖產興業は愈々多望の域に進んでゆくのである

花電車と救護班
大人氣の山野横斷競走

山野橫斷競爭は近來稀に見る壯擧として市中の人氣湧くが如く京城電氣會社等にても十九日より二臺の花電車を運轉して景氣を添ふることゝなつた倘ほ競爭中萬一の場合に備へんため赤十字社醫員並に看護婦若干名は決勝點附近に出張し救護の任に當ると共に南山町松岡醫院、旭町一丁目衣笠醫院漢江通原醫院、元町佐藤醫院、南大門通五丁目小川醫院等を臨時救護所に決定したり

決勝點は共進會場內
本日の京龍山野横斷大競走會

協贊會主催の京龍市街山野横斷大競走は本二十日午前十時(雨天順延)協贊會演藝館前進發七箇所の關所を通過して歸還する筈なるが各決勝點は共進會場內に決定せり五十名の選手、驅けるが商賣の猛者連が何れも全力を盡して勝敗を決するとなればその壯觀素晴しきものならん

李王妃御觀覽

李王妃殿下は隨員約四十名を隨へられ二十日午後一時より共進會を御觀覽あるべし

變裝俳優
仁川水族館に現る　雁十郎新昇長之助連

仁川水族館內には二十日午後一時より三時の間に於て目下仁川歌舞伎座にて興行中の中村雁十郎中村新昇及び林長之助の三名變裝にて構內か館內か又は賣店か何れの處か疑問なるも現はるゝ事となり之に對する發見者には請元高津氏より賞品提供する事となりたれば水族館も益々盛況を呈するに至る可し

朝鮮の植物は約三千種
理學博士　中井猛之進氏談

自分は三年前から朝鮮總督府の囑託を受けて半島の植物に就き研究中であるが朝鮮の植物は約三千種に分けることが能き其の內には又內地の樺太から臺灣を尋ねても決して

△他に見當らぬ種類 が約七百種許り

もある、而して內地に在る種類と同樣なものであつても仔細に是を觀ると全く異種類のものもある、例へば樅樹の如きも內地と朝鮮とは略ぼ同樣のやうに思はれるがよく之を視ると單に外形が異ふのみならず其の實質も異ふのである、故に同じ植林施設の方法にしても自ら趣きを異にしなければならぬ、次に太古に於て朝鮮半島と日本內地とが如何なる關係にあつたかといふことは學問上極めて興味ある問題であるが植物帶からこれを見ると何うしても

△此の兩地間が昔し 陸續きであつた

と思はるゝのである、又地質學上から言へば少くも第三紀頃までは此の兩地間に連絡があつて日本內地、朝鮮半島、遼東半島、山東半島などは皆陸續きの大陸であつたと思はれる此の事は此等の土地に生育する植物によつて推定する事が能きるのであるが當時第三紀の末期から洪積期の頃にかけては現時の歐洲北米のあたりは一帶に大氷河を以て掩はれその爲め北方の植物は一樣に南方に追はれた時代があつた、即ち朝鮮も其の餘波を被けて非常に寒冷な氣候であつたと思はるゝが前に言つた內地朝鮮間の連絡は

△當時の遺物たる偃 松、朝鮮五葉松

の自然的分布によつて證明する事が能きるのである、現今偃松の生育してゐるのは金剛山の絕巓、狼林山脈の全體、長白山脈の一帶等總て古代から存して居る高山に限り同じく高山でも白頭山の如き新らしい噴火山には見當らぬのである、又朝鮮五葉松は南鮮智異山、中部大白山を始め前の偃松と同樣の山々に到る處自生してゐるが遡つて內地に於て之を視るに即ち古代洪積期時代に出來た山脈―日本アルプス、南アルプス、日光などの山巓に之を發見するのである、斯く此の兩種が極めて高地の寒冷な所にのみ生育するを見れば

△太古より漸次氣候が暖かになるに

伴れて此の植物が平地から高山の絕頂に追ひ上げられたものである事が分るのである、然るにこればかりでは何の證據にもならぬ譯だが元來偃松、五葉松の實は普通の松實の如く風に飛ぶ羽毛無く熟すれば自然樹下に墜ちる性質のものでこれを他へ移動するには是非共動物がこれを運ばねばならぬ譯である、其れで同じ附近の高山であつても彼の胞胎山上に偃松があつて白頭山に生育せざるは是れが爲めである、然るに遠く海を隔てた內地の高山と朝鮮の高山とに等しく此二つの樹木を遺してゐるとは太古兩地間が陸續きであつたことを證明するものであると思ふのである

(家庭博の第二回美人探し)
天勝の變裝探し
今夜七時より＝家庭博場內にて＝

△變裝者　○天勝○天花○百合子○靜の四美人　▲一光▲天右の二男子

△賞金　天勝を捕へた人に十圓　其他は二圓宛

△規則　發見した時は『あなたは誰です』と明確に云ふ事▲濫りに手を觸れては可けない▲事務所へ同行の事▲鈴が鳴つた後の發見は無効(雨天の時は二十一日夜)

△尙ほ變裝者は女は女裝男は男裝します

家庭博の福引景品デー一日延べ
十月二十九日まで　奇想天外の催し　景品數萬點

今夜家庭博に出場する
天勝一座の變裝者(四美人)

(上)天勝(下)天花(向つて右)百合子(同中央)靜(同左)

銃を有つて罪

十八日三名の支那人は拳銃百三十挺及び彈丸一萬發を所持し居りたる廉を以て告發せられたり(上海特電)

□今日の演藝館□

△晝間

▲千里の風(京城券千代香、〇〇、玉子、笑子、丸子、小政、小芳、國香、光蘭、花奴、ふみ子、君蝶)

▲つひのよるべ　〇〇、小芳、玉子、小政、十九江、卜一、貞香、百吉、國菊、政菊、國之助、君蝶

▲地方　玉笑、久、たま、勝丸、ち金子、秀丸、一子、はまぐり、つぼみ

△夜間

▲朝鮮妓生手踊(藝題未定)

滿洲に雪降る
暴風雨飛來し寒氣急に加はる

十八日午後より滿洲一體天候激變し強風暴雨襲來し開原以北には十七日夕雨變じて霰となり次いで雪と化し寒氣遽かに加はる作物に多少の被害ある可し(大連特電)

怪しの材木
獨逸人の仕事

十六日午後警官は材木を積みたる車を牽ける二名の苦力を捕縛したるが同材木中には錫製の箱ありて其箱中には拳銃及び附屬品充滿し居るを發見せり探偵の語る所に據ればニールスンと稱する一獨逸人は前記苦力中の一人に對し藥品を運送することを依賴したるより苦力は材木中に挾み之を螺線にて緘め恰も材木の如く裝ひたるものなりと(上海特電)

横領銀行員控訴

廣島縣中那守村生れ早田貢(二九)三重縣員辨郡東藤原村生れ黑田榮(三〇)山口縣下關市生れ河野半二(二五)が朝鮮商業銀行書記補として在職中大正二年十二月一日より相共謀して文書僞造行使詐欺橫領をなしたる事件は京城地方法院にて半二は懲役二年、貢、榮は各懲役十箇月の判決となりたるを覆審法院に控訴せり

日蓮宗大布敎

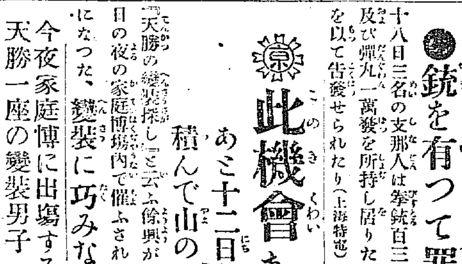
旭町三丁目日蓮宗護國寺に於ては十八日より二十二日迄開堂式及び入佛式を兼ね始政五年記念として前管長大僧正大本山本國寺貫主旭日苗猊下、日蓮宗大學々長杉田日布權大僧正、一等布教師林鳳肖僧正、下總國中山法華經寺荒行堂に於て每年寒中百日荒行一千日成滿大修驗者丘潮仙權僧正其他布教師十有餘名を招き左の日時を以て大布敎開催參聽隨喜觀迎の由

十八日午後一時開堂式大法要同三時より御親敎　十九日午後一時より天覺稚兒(七十名以上)音樂上堂入佛式同三時より御親敎　廿日午前八時より國威宣揚大祈禱會午後一時より御親敎同日三時より全鮮布敎師大會開催同夜雖日御法難大法要同八時より大說敎同日は午前十時より一般參詣者へ觀齋呈上　十九日廿日兩夜大學傳道日蓮宗大學長杉田僧正の法話を筆記せる四恩法話と題する小冊數千部施本す　廿一日午前八時より創立以來寄附者現安穩後普大祈禱會同午後一時より御親敎　廿二日午後一時より國事殉難者並寄附者及一般所志諸靈大施餓鬼會三時より御親敎

此機會を逸する勿れ
あと十二日＝二十日の家庭博＝景品は積んで山の如し＝夜は天勝の變裝探し

『天勝の變裝探し』と云ふ餘興が二十日の夜の家庭博場內で催ふされることになつた、變裝に巧みな天勝孃の外天花、百合子、靜子の三美人に一光と天右の二奇術師等は果して什麼變裝をするだらうか、變裝に自信を持て居る天勝を發見する人があるだらうか、兎も角も今晚は變裝した天勝、假面を脫いだ素顏の天勝を見られる譯だ、加之お慰みの福引的大景品は二十日から更に十日間延期され一等(四圓)から四等(一圓)までの錢は二百五十本も更に加へられることになり其外臨時寄贈の番外景品は續々殖て引換所は日を逐ふて**景品の山が高く**なり今日からは以前に增して番外景品の奇拔なものが出ることになつて居る、家庭博の開期はモー後十二日となつた、斯る大仕掛な而して**見て有益な博覽會は又と見られるものでない**から未だ見ぬ人は此機會を逸せず御來觀あれ

今夜家庭博に出場する
天勝一座の變裝男子


一光　天右

家庭博寄贈品

▲玩具飛行機　五十個　吉岡玩具店
▲同上猫　四百個　同
▲鳴猫、首振人形、毛皮チン　五十五個　場內中村喜久太郎
▲館麵麴　百個　明治町木村商店

京日案內

◉普通　一回前金三十錢(無割引)　匿名一回每に金五錢增

◉坑夫募集　至急坑夫入用希望者は來談あれ　太平町二丁目三四四△坂元分析所　774

◉女店員數名募集す十二歲より卅歲迄保證人要給料面談(當舖前)京城本町二丁目電二七五二番△乃木餅屋　728

◉貸本用新舊小說四百餘冊讓る並日本產雄狆愛犬家に讓る希望者は△京城壽座隣下山藥房へ　772

◉小僧入用十四歲より廿歲迄の者數名但し保證人を要す　◉龍山元町　富井吳服店　773

◉賣地　南大門通齊宅地壹地卅餘坪御望の方は(電話壹〇壹五番)△黃金町　喜多金光堂　760

◉番外　一回前金六十錢(無割引)　匿名一回每に金五十錢增

支那歐米雜貨品揃　確實安價　京城南大門通一丁目廿二番地　德興泰洋品店　779

賣地及家屋　市內外に有十萬餘坪有望の箇所各筆に分賣す希望者御來談ありたし　電話二三五番　本町三丁目　森川商店　778

生徒募集　夜間敎授開始　自午後七時至午後十時　裁縫茶の湯生花擇撰隨意月謝一圓　若草町三六番　大日本茶道學會朝鮮支部附屬女子手藝部　電話三二六三番　777

樂器買入　中古オルガンバイオリン　不用の方は御持參あれ高價買入　京城本町四丁目向小路　杉野樂器店　776

花柳病治療請合藥　りん病ばい毒に專門御困りの方は一度御來店あれ　京城黃金町　東門藥房ドラック支店　768

マッサージ　產婆　三浦小糸　京城本町二丁目電話一四四〇番　756

平壤燒栗　支那やき燒味京城唯一　櫻井町大正館前　山下製麵所　電話二三四八番　754

產婆　澤入ツマ　新龍山漢江通原病院向側　山野改メ　電話六一九番　753

鍼灸　一般　子宮及び胃腸は特に請合　京城旭町一丁目白石組橫小路入　吉川市　751

牛肉卸小賣　京城南大門通四丁目青物市場前　電話二九一一番　高橋牛肉店　741

朝鮮特產　人參ミルク　衞生滋養豐富　見舞品內地土產品には好適本品は主所の特約店にあり一磅入廿五錢　櫻井町　製造發賣元　博榮堂　734

平壤燒栗　みりんみつやき　一合三錢五升以上一升に付一錢引　櫻井町一丁目百三十二番地　福井屋　731

◉貸家　場所南大門通一丁目　本通り煉瓦建にして水道瓦斯の設備あり商業向に好適御望の方は左記へ御問合を乞ふ　南大門通一丁目電話一三四七德興號　723

◉旅館　一泊八十錢一圓一圓廿錢　御中食三十錢四十錢各別　共進會觀覽各位に多大の御便計り升　入口五六軒右脇　△伊藤旅館　720

◉生產販賣並に優良春蠶種照會　春蠶種　滋賀縣長濱大手通　中國商會　電話三〇〇番　振替大阪二九二七五　704

□最も趣味多き
冬物大賣出し
福袋付
二圓每に福袋一個宛進呈
十月二十二日より
同二十九日まで

□福袋在中品概要
金通丸帶。御召コート地。
綾糸織特製品。羽二重肩裏地。
綴織座布團地。縮緬男袖地。
久米絣。越後結城。
瓦斯蒲團地。
□其外蒲團地縮緬衿地肩裏地等以下數百點空袋は一個もありません
□飛切大見切品及釣切類の大々的安價なるは實地に御試し下さい
(赤札物に限り福袋なし)

京城明治町
唐川吳服店
電話二六一番

千生瓢 (17)

須藤南翠作 筒井年峰畫

雪消(二)

「聞食さずとも、先づ杯の受けさせられ」

勝家が献した土器を、小谷の御方は、兩の手に受け戴く、お初姫がさし出す銚子の口に、そと當てゝ朱の唇を宛行つた。

小谷の兩城に兵を挾んで、御父子の間を斷ち絶つたのは筑前ぢや、淺井殿は筑前の詭手に依つて、お腹召されたやうなものぢや、申さば筑前は卿の讐ござるわ」

勝家は小谷の御方が酬す土器を受けて滿を引きながら、意ありげに小谷の御方の顏を見た。

「妾は藤吉を好きませぬ、彼のやうな下賤の男、面合すのも心が汚れまする、妾は贈太政大臣信長が妹、藤吉とも呼びたうござりませぬ、筑前とは誰が事」

怫とした面にさす淡紅の麗しさ、怒つて逆立つ柳眉に險を帶びた凄さ、怒つても笑つても、日本一の美人には勝れた美がかゞやきわたる。勝家は態と俯向いて、

流石は萬松寺殿(信秀が法號)御息女、さては此勝家も權六と申さずば」

「あれ、何仰せられまする、兒信長親らの媒介にて、配はせ給べた妾が夫、亮殿を誰が權六呼はり、亮殿は何より妾が家の老臣おはす、彼の下郎は渡り者の仲間ござりまする」

「左樣申さるれば、聊か安堵致す、卿あまりの氣高さに、誠一縮み致いたすやはゝはゝ」

「ほゝほゝ、春は兎角に氣の若やいで」

五十の花聟、四十の花嫁、あだめかしい笑い聲のさゞめく時、阿茶殿と阿信殿が、忍びやかに手を引き合ふて入つて來た。

「阿初樣、御酌ござりまするか、妾と代りませう」

阿茶々殿は姉くしく其處に坐つて阿初殿が手代りをする、勝家は三人の姫達を、ゆかしげにうち見戍た

「大人しう遊んで居ませ、程のう猿奴が首級取つて、御達の手球に進せようぞ」

「御出陣ござりまするか」阿茶々殿の清い目は、聞く瞠かれた。

「疾う旗の出いて、鎮定める筈ござつたが、威にも力にも及ばぬものは彼の深雪ぢや、度々人馬を出いて、路次の程を檢させたが、迚も大軍は動かせぬぢや」

「妾今朝鶯の初音聽きました、足羽川の汀の氷も溶くるを見受けました、惡い鶯御坐りまする、惡い氷ござりまする」

阿信殿は寄つて母御前の顏を仰いだ

勝家は微笑みながら

「御信殿は異な事仰する、疾う渚告げて、よい鶯ござらぬか」

「春來る事は嬉しうござりまする」

「花咲く事は嬉しうござりまする、父上の居させられぬが、淋悲しうござりまする」

阿信殿の目には、織い珠が光つてゐた。

「はゝはゝ、此爺爺が居ても居いでも、御達か遊ぶのに係りはあるまいものを、よう聽かせ」

勝家は斯ういつて少しく威儀を裝つた。

「美濃は御達の伯父公、執し思された國ござる、別して岐阜の輪城は、右大臣家手放し給らず、城介殿御坐あつた名城、右大臣家唯一の牙城ござつた、其城へは御達には從弟、御方には姪、神戸侍從信孝殿籠らるゝ、然るに羽柴筑前守秀吉、三法師殿を取り奉つて安土城に御坐させ、また岐阜より御弟飛龍丸を驅り取つて、是をも已が手の内に握り、信孝殿正月の賀なしとて、今大軍を以て岐阜御城を取籠み、剩へ信孝殿の御身、瀧川左近將監一益をも勢州桑名に取圍むる眞最中、兩城の安危は固より事、右大臣家の牙城をは、秀吉風情に攻めさする事、織田殿が弓矢の恥辱、正しく勝家が武勇の恥ござる、さらば今雪の溶けたるを幸ひ、速かに大軍を動かして安土城を陷し三法師公を守護して、上洛せんと存ずる、暫しの間ぢや、留守せさせ」と諄々として意中を語るのであつた

大自動車

新羅一千年間の舊都(朝鮮の奈良)慶州に遊べ
京釜線大邱驛より快走タツタ二時間半！更らに一時間にして迎日灣浦項港に達す

新刊と批評 (批評希望者は編輯局新刊係宛本のこと)

▲金剛山寫眞帖 金剛山は今や天下の金剛山として勝名内外に高く雅客文人の來節する者頗る多し而して寫眞に雑に其の勝を傳ふるものあるも未だ其の完を得ざるは世人の遺憾とする處なりしが當家玉龍麗川君の令兄德次郎君元山にて多年寫眞の術に堪能なり一器を携へて久しく金剛に籠り山川を跋渉して殆んど勝地を撮影せざるはなし今回之れを叮嚀優美なる寫眞帖として發行する所謂麗水黒田氏の叙あり寺内總督、山縣政務總監の題字最後に玉龍氏の識あり印刷美麗鮮明を極め金剛の勝地を收めて殘さず實に七十一枚に及び海に金剛寫眞帖として完全に近きものと云ふべし特に天覽の光榮を賜へりと(發行所元山港仲町二丁目德山寫眞館特價三圓五十錢)

一流大家の新講演ニ又々紙數增加
講談落語 娛樂世界
定價二十錢 送料二錢 半年迫料共壹圓二十錢
十一月號出來
□柳澤昇進錄：芦州 □心眼(落語)：圓右 □鼠小僧と熊殺：圓玉 □櫻田血染の雪：松鯉 □ト傳仇討出立：馬琴 □薄雲(落語)：むらく □仁禮半九郎：伯山 □法事の茶(落語)：扇橋 □水戸黄門記：文車 □桃太郎(落語)：圓橋 □芝小僧政五郎：柿紅
□世界奇譚殿女の戀：菊堂 □講談眞打花形揃：曉紅 □英傑奇譚國事探偵：松葉 □團玉の松さん：阿佃笠 □西の市と電車：蕉雨 □情話旅から旅：狭衣 □外國の活動寫眞：志住 □話下妾錄：鍵角魔王 □十月の芝居：鬼太郎 □大懸賞募集及發表
東京市日本橋スキヤ町 發行元 鈴木書店 振替東京貳壹貳貳七番

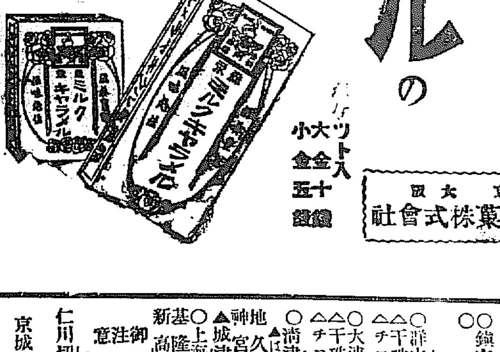
新刊書御案内
書名 著者 定價
◎時論及思索(修平新刊四卷) 一、三〇
◎アッシジの聖フランチエスコ 中山昌樹譯 一、八〇
◎セヴァストオポリ 丸山哲峰譯 一、八〇
◎ブラジル移植民の眞相 伊東 一、九五
◎靜威 水野錬太郎 一、二〇
◎頭山滿と玄洋社物語續編 平井晩村 一、九〇
◎地獄 江馬修 一、七五
◎生命中心の哲學 三並良 一、八〇
◎認識論 紀平正美 一、二〇
◎銀笛 小杉天外 一、三〇
◎醒めたる女 坪内逍遙 一、〇〇
◎將棊はめて千態 土井市太郎 一、三五
◎筆草 大町桂月 一、三五
◎正して用字法 大町桂月 一、八〇
◎改訂商業通信 石川文吾 二、三〇
◎請貸金取立法と貸倒れ復活策
◎參考化學通解 山藤豐作 一、三〇
◎教育法眞髓 河野清丸 一、二〇
京城本町電話一〇八六番 振替京城二五七二 大阪屋號書店

エンゼル香油 貴婦人紳士用 大阪製造 特約店 仁川 安保商店

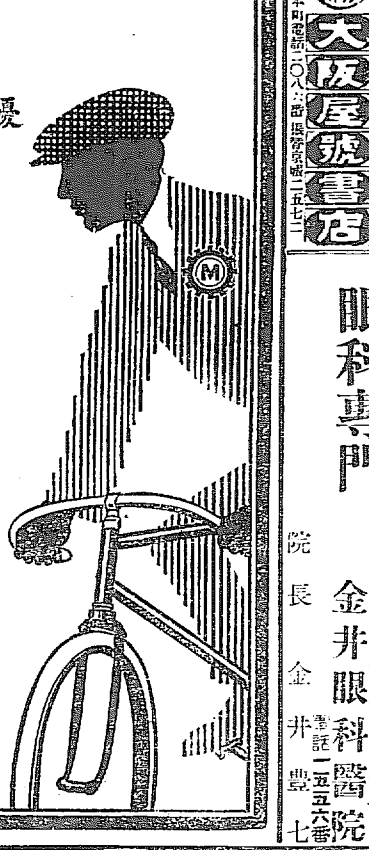
淋病内服新藥 エフェクチン
前帝國醫科大學藥局の特命製劑者赤井藥劑士に由て創見されたるエフェクチンは急性淋病、慢性淋病及泌尿器疾患に適應し其効力は著大なり。
□說明書希望の方はハカキにて申込め無料送呈す
東京市本所區向島小梅町一三五 東京藥化學研究所 電話本所七一〇番

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版・亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も迅速に迅速と叮嚀親切を旨とし御高諾に副ふ可し
京城日報社 寫眞製版部

猛虎一聲山川搖くが如くに
森永ミルクキャラメルの
賣行旺盛なるは
現代製菓の四大要件たる風味、消化、滋養及清潔を完全に具備せるが爲めなり
煙草代用
登錄商標
二三ミセ・ノに御注意の上
此の商標ある
森永ミルクキャラメルの御愛用を乞ふ



ポケット入 大 金十錢 小 金五錢
東京 大阪 森永製菓株式會社



優良 經濟 TRADE MARK
宮田製 アサヒ號 パーソン號 サンライズ號 自轉車 國華號 ミスター號
賣捌店全國到る處有名なる自轉車店
模造品多し各部分の印商標に乞御注意
宮田製の誇は堅牢にして輕快、然も優美にして實用的要素を具備せるにあり
發賣元 宮田製作所

ベルベット石鹸
此の石鹸の商標 美人と縁の深い
製造元 日本リーバーブラザース株式會社

眼科專門 院長 金井豐七
京城本町六丁目(元軍司令部通り) 金井眼科醫院 電話一五五六番

金牌受領 上酒壹升付ニ四拾錢 御買上は特に割引可致候
清酒美醸林檎酎 釀造元 京城櫻井町一丁目 中井酒造場 電話百七十七番

模範 純粹培養 牛乳 ヨーグルト
大正塚肥醫獸醫之場
京城西大門通町四 東亞牧場 (電話五二一番)

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸 十月廿四日後四時出帆
君が代丸 十月廿七日後四時出帆
神代丸 十一月 日後四時出帆
大有丸 十一月廿一日後四時出帆
第二太湖丸 月 日後五時出帆
○群山、大阪行
土海丸
仁川港岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行
小倉丸 十月廿六日後五時出帆
○元山城津浦鹽行
小倉丸 十月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行
立神丸 十月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行
立神丸 十月廿八日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 十月廿二日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 十月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天長丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
郵便御用命令船 芝罘、大連行
第三共同丸 十月 日後二時入港 十月廿二日前九時出港
朝鮮鐵道主要驛にて荷客運輸連絡御取扱仕候 大連にて靑島行定期船に接續荷客共前航船と同額運賃にて通し輸送御取扱可仕候
城津、淸津、浦鹽行(元山出帆)
第一阪鶴丸 月 日 後九時出港 月 日出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆)
第三共同丸 十月廿三日 十月廿四日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町一丁目(電話一〇八番) 山下回漕部
元山代理店 寄日町(電話二四四七番) 田口回漕部
京城取次店 大門通(電話一二六八、二〇一七) 河村運送店

大阪商船仁川出帆
○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○外航所屬航路(遠洋航路を除く)間連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、門、神戸、大阪行
宮島丸 十月 日
漢城丸 十月廿二日 午後五時出帆
漳州丸 十月廿六日
○木浦、釜山、長崎行 ▲は嚴原加の浦に寄港
×安東丸 十月廿四日 午後二時出帆
×▲天智丸 十月 日
○鎭南浦、大連行
×安東丸 十月 日
×天智丸 十月廿八日 午後二時出帆
○鎭南浦關門神戸大阪行
月 日 正午五時出帆
月 日
○群山、釜山、横濱行
△千珠丸 十一月一日 午後四時出帆
△チヨイサン丸 十月廿一日
○大連直行
△千珠丸 十月廿七日 正午出帆
△チヨイサン丸 十月 日
○淸津、浦潮行(元山出帆) ▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港
地久丸 十月 日
神宮丸 十月廿九日 午後九時出帆
▲城津丸 十一月四日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
基隆丸 十月廿九日 午後四時出帆
新高丸 十一月六日
御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡運賃仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前御乘船相成度候
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七八〇番

日本郵船仁川出帆
○大連太沽牛莊行
高砂丸 十月廿一日 正午出帆
三河丸 十一月八日 正午出帆
相模丸 十一月三十日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

朝鮮郵船出帆
京城本町一丁目 電話長一九五二番 二二三番 本社 電話長一二七〇
朝鮮鐵道及其他外船と商客連絡輸送の便あり詳細は本社支店、出張所、代理店、旅客取扱店に御照會相成度候
京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店
全羅丸 十一月四日
京畿丸 十一月廿五日 釜山發
黃海丸 十一月廿九日
咸鏡丸 十月十九日
門司より釜山各港寄港經由間ごと
昌平丸 十月廿四日
鏡城丸 十月廿六日 元山發
元山より各港經由雄基行
能登丸 十月廿四日 元山發
忠淸丸 十一月一日 元山發
城津、淸津、浦鹽行(復航釜山經由門司)
永興丸 毎月廿八回 元山發
北大嶼、石單浦行 又は長崎延長
嘉島丸 十月廿三日 釜山發
甘浦、九龍浦、浦項各港寄港慶崎島行
江陵丸 毎月(釜山浦項)發
襄陽丸 長生浦、方魚津寄港
三浦丸 十月廿一日 釜山發
長承浦、統營、巨文島、濟州島各港行
海州丸 巨濟丸 毎 日 釜山發
統營丸 慶寶丸 各港經由甑南浦(三日目一回木浦行)
顯天丸 三日目毎 木浦發
各港經由順天行麗水より釜山行に接續
慶興丸 十月廿四日 木浦發 一、各港經由濟州島行(西廻)
公州丸 十月廿七日 木浦發 一、各港經由濟州島行(東廻)
宗信丸 十月 日 仁川發 海州龍各港經由、鎭南浦行
江原丸 十月廿五日 仁川發 芝罘、大連、靑島行
麗水丸 十月 日 仁川發
晋州丸 十月廿三日 仁川發 各港經由木浦行
全南丸 南陽丸 毎日午前 仁川發 江華島、桐苗島、海州行
平安丸 十一月十六日 群山發 十一月十三日 若松發 往航 大黑山、木浦、門司、若松行 復航 門司、木浦、群山行

汽車
京釜 南行 北行
湖南 南行 北行
京元 南行 北行